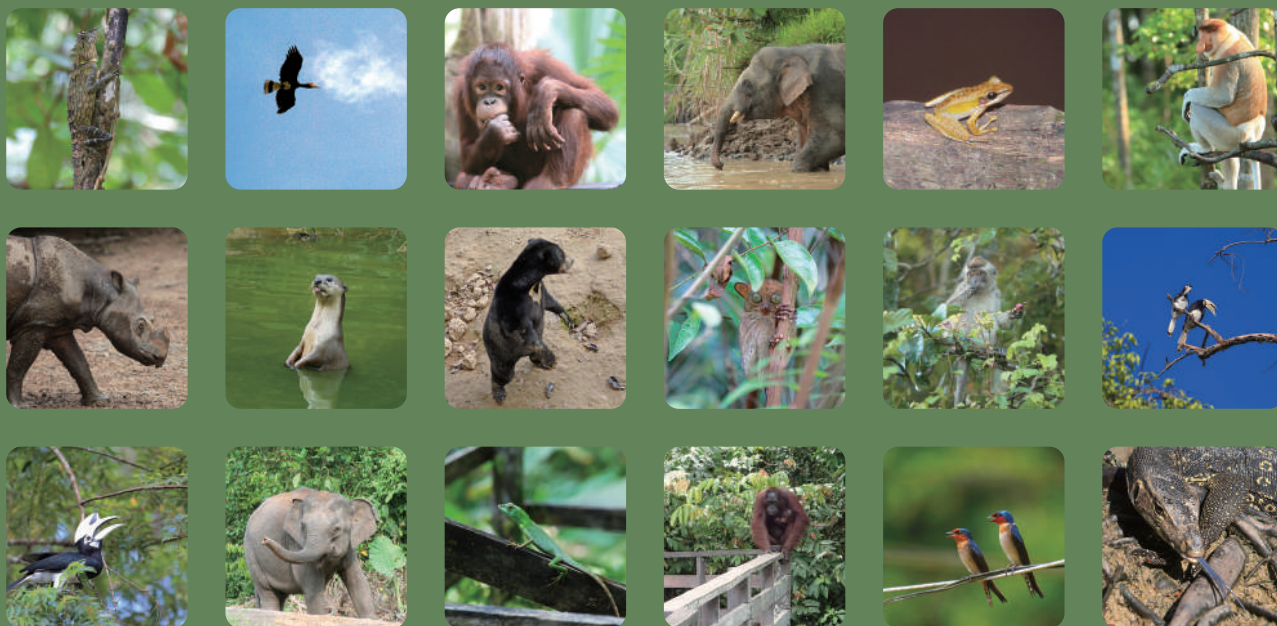
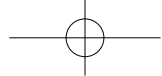


2022

# パーム油白書



認定 NPO 法人  
ボルネオ保全トラスト・ジャパン



## はじめに

---

2022年もオミクロン株の大流行から始まり、中国での実態不明の新型コロナパンデミックと、コロナに明け暮れる1年でした。ロシアによるウクライナ侵略もあり、世界情勢が不安定化、エネルギー危機、食糧危機、物価高、また気候変動による災害の甚大化など、世界中が混乱の坩堝に陥られました。

化石燃料の供給の不安定化をうけ、パーム油関係の価格は急上昇、「貧者の油」と称されたパーム油も貧困層には入手しにくい価格になってしまいました。

ひさしぶりに対面でも開かれたRT2022では、RSPOのインパクトレポートが発表されました。RSPOの活動を網羅しているレポートなので、詳しく知りたい方は是非ご覧ください。RSPOのサイトで読めます。

RSPOに加盟の日本企業は280社以上と、世界の国々の中でも数的には多いです。ただ、認証制度への取り組みが具体的に進んでいるかは別問題です。

ここでは、消費者になじみ深い消費財メーカーのACOPレポートを調べ、パーム油などの使用量、認証品の使用量、RSPO認証マークの使用の意志の有無などを企業別に掲載しました。東京オリンピック・パラリンピック前に比べると、認証品の導入は進んでいるものの、まだまだ少ないといわざるを得ません。消費者が認証品を購入したいと思っても、対応する認証品がほとんどないのが現状です。

また、認証のグレードも、実際には認証油が入っていないB&Cが多い、メーカーも購入を希望しても入手できないなど問題は山積しています。

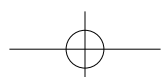
生物多様性保全は、地球上に暮らす人間全員が関わっていかなくては解決できない問題です。「消費者の意識が低い」「メーカーが目先の利益にこだわって認証油を使わない」などお互いに責任を押しつけあっても仕方ありません。何もしなければ、事態は確実に悪化します。月並みですが、今の時点でできることから始めましょう。

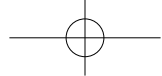
この白書が、持続可能なパーム油への理解の一端となれば幸いです。

パーム油白書編集委員会（青木崇史、中西宜夫、森井真理子）

---

表紙写真：河岸まで迫るアブラヤシのプランテーション(上)。多くの動物たち(下)が住処を追われてしまった。





# Part 1

# 知識編

## CONTENTS - 1

RT2022報告

**RSPOはインパクトレポートを発表。  
重要継続課題は、小農の認証取得**  
**P4**

JaSPON活動報告

**持続可能なパーム油の調達と消費促進のため、  
JaSPONは日本で活動中**  
**P5**

日本のRSPO加盟企業リスト

**日本企業のRSPO加盟数は徐々に増え、  
280社を越えました**  
**P6 ~ P7**

ACOPレポート研究

**日本の消費財メーカー49社の報告書から、  
RSPO認証品への切り替えの実態を調査**  
**P8 ~ P15**

RSPO認証品への切り替えにトライ!

**神戸どうぶつ王国のRSPO認証品への  
切り替え作戦経過報告**  
**P16**

# RSPOはインパクトレポートを発表。 重要継続課題は小農の認証取得

RTは例年のように小農グループの認証取得の発表から始まり、全体会議や分科会、展示ブースや、サブイベントなどさまざまな角度から小農の認証取得を扱っていた。小農の認証取得拡大は、RSPOの重要課題である。RTでは多数の全体会議や分科会があるが、今回は小規模農家の課題についてアンテナをはりながら参加した。

中西宣夫 (サラヤ調査員 BCTJ 理事)

## インパクトレポート

RSPOの進捗がさまざまな角度からデータで説明されているインパクトレポートが発表された。詳細は<https://rspo.org/our-impact/>で見ることができる。

「分科会1 インパクトレポートの紹介」では、小農のデータが引用され、「アブラヤシで生計を立てている小農は、全世界で少なくとも700万人、インドネシアとマレーシアには約330万人が存在する。タイでは、36万4千の小農がアブラヤシ栽培面積の70%以上を占めている。ラテンアメリカとアフリカはデータが不十分で正確な数字はつかみにくい」と報告された。

RSPOでは認証を目指す小農に資金的な支援を行うRSPO小農支援基金(RSSF)を2013年に立ち上げた。その後2020年までの間に、38,597人の独立小農を支援するために403万米ドルが承認され、そのうち260万米ドルが活用された。

## アフリカなどの小農の状

全体会議2の「小規模農家を大規模に取り込む持続可能なパーム油の発展」ではガーナ、ウガンダ、メキシコ、パプアニューギニアの事例をあげ現状とこれからの拡大目標などについて語られた。アフリカでは気候変動問題より飢えや貧困

RT 2022は、RSPO認証を取得した小農グループの表彰式から始まった。

が目前の課題であることが強調され、搾油工場の設備なども不完全で、マレーシア・インドネシアなどアジアと異なった状況があることが示された。

## 小農関係のブース展示

ワイルドアジアのSPIRAL "Small Producer Inclusivity and Resilience Alliance" (小規模生産者包括的レジリエンスアライアンス) というプロジェクトの展示が興味深かった。世界のアブラヤシ業界のキーパーソンをつなぎ、小規模農家を世界のサプライチェーンに組み込むことを支援し、地球に優しい農法を推進するプログラムで、認証取得のためにグループ化した小農に、オーガニックファームングやバイオ炭などの導入を行い、付加価値をつけて農家の自立を促そうというものである。ワイルドアジアは、2003年に設立されたマレーシアを拠点とする社会的企業で、アブラヤシなどの農産物の持続可能な生産や流通のシステムを提案・確立する事業を行っている。2016年から小農の認証取得を推進してきた。

もうひとつは、フォータスビ(FORTASBI インドネシア持続可能なパーム油農家フォーラム)は、2014年、インドネシアの複数のNGOとアブラヤシ小農組織が、持続可能な認証に向けて独立したアブラヤシ小農のキャパシティを高めるためのグループとして創設された。<https://www.fortasbi.org/>インドネシアの7つの地域に広がり77村が参加している。そして10995の小農が認証を取得し、その面積は24728.3Haとなっている。

何よりも興味深いのは、これらの2つのプロジェクトはRSPO認証の取得にと

## 【表A】 RTプログラム

### 分科会1

より大きなインパクトを生み出すためのデータとテクノロジーの活用

### 分科会2

アジア地域の対話 - 持続可能なパーム油のための基盤整備

### 分科会3

地域別認証の実現に向けて

### 全体会議1

持続可能性基準における人、地球、そして繁栄のニーズのバランス

### 全体会議2

小規模農家を大規模に取り込む持続可能なパーム油の発展

### 分科会4

成熟市場における共有責任の未開発の可能性の活用

### 分科会5

パーム油に関する情報発信 - メディアとステークホルダーとの対話

### 分科会6

クレーム - あらゆる角度から

### 分科会7

農園レベルでの社会的デューデリジェンスの実践 - どのように集団的かつデータ主導の行動が労働者と業界にとってより良い結果をもたらすか。

### 分科会8

人権と労働者の権利の強化、将来のデューデリジェンスと森林破壊に関する法律への適応

### 分科会9

ネットゼロを目指すパーム油産業 - コミットメントかミッションか？

### 全体会議3

RSPOの将来性 - 2050年のパーム油のあり方

### 全体会議4

パーム油セクターにおける労働基準の運用について

どまらずリジェネラティブ農業(環境再生型農業)の導入を目指している。リジェネラティブ農業とは既存の農業で傷んだ土壌を修復しながら、土壌の生物多様性を回復させることで、自然環境の回復を目指す農業で、有機農業やアグロフォレストリーの実践なども含まれる。

RSPO認証製品の占める割合はまだ世界の生産量の20%程度だが、先駆的なグループはすでにその先の目標を掲げている。近い将来RSPO認証製品を使っているからそれでいいという時代ではなくなるかもしれない。



# 持続可能なパーム油の調達と消費促進のため、JaSPONは日本で活動中

2019年、日本の小売や消費財メーカー、NGOの18社／団体が日本での認証パーム油におけるさまざまな問題を解決することを目指してJaSPONを設立した。

ここではあらためて、コロナ禍下での3年間の活動紹介と今後の課題について紹介したい。

青木崇史 (BCTJ 事務局長)

設立から約3年を迎えるJapan Sustainable Palm Oil Network (JaSPON、持続可能なパーム油ネットワーク)は、これまでさまざまな活動で日本市場の認証油普及に努めてきた。

毎年の全体会議の他に認証油の調達やRSPOトレードマークの取得方法に関するワークショップの開催、プレミアム(上乘せ)の検討や添加物・派生物の入手可能性を検証する部会の立ち上げのほか、RSPO職員によるサプライチェーン認証のセミナーや質問会も行っている。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大という想定外の事態でイベント開催の機会は減少したが、認証油市場の裾野を広げる努力を着実に続けてきた。JaSPONの活動内容を紹介したい。

## 1 持続可能なパーム油の調達に関する情報収集及び情報提供

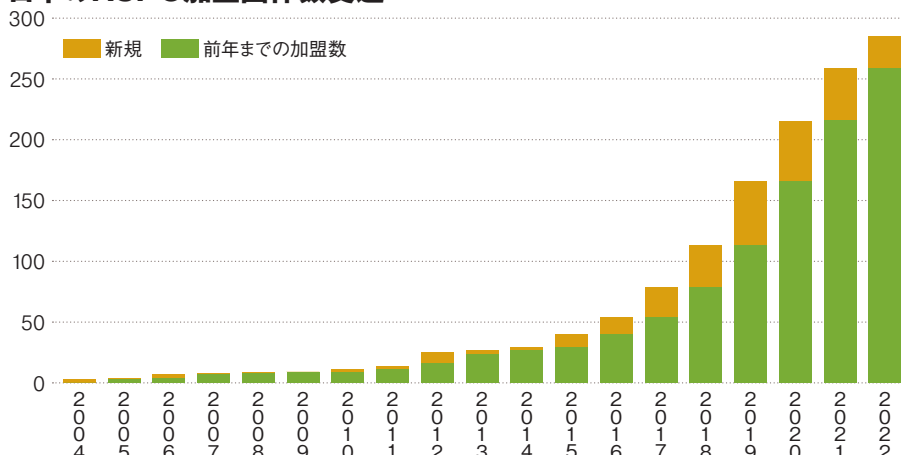
認証油の購入を考える企業にとって、最初の一步のハードルは低いものではない。調達を検討する企業からは「認証油を扱うようになると日常業務がどう変化するのか知りたい」「調達について先行企業の具体的な話を聞きたい」「規定の詳細を知りたいが英語の資料しか無いので苦慮している」といった声もよく聞かれる。

RSPOの公式情報はウェブサイトで開催されており、中国語など12か国語で読めるように準備が進んでいる。(自動翻訳のアプリを入れれば日本語でも一定程度は読むことができる)。

また加盟企業へはRSPO事務局から定期的なメールも配信され、最新のニュースが提供されている。

しかし条項や規則に関する資料の量は膨大で、必要な情報を探し出し、その詳

## 日本のRSPO加盟団体数変遷



細を理解するのは労力を要する作業だ。自社の認証油調達に関する規則が変更されたことに気づくのが遅れ、のちのちのトラブルにつながる可能性も否定できない。JaSPONでは常に最新の情報を収集・理解し、会員に届けるとともに、質問や相談についても幅広く受け付けることが求められる。

## 2 普及の促進

普及の促進においては、企業をサポートして認証パーム油の調達を進めるだけでなく、消費の促進、すなわちRSPOと認証ラベル、また認証ラベルの付いた商品と販売する企業の存在を世の中に喧伝し、RSPOの価値が理解される社会の醸成を促していくことも重要な役割である。

## 3 メンバー同士の相互補完

RSPO認証油において、特に核油由来の派生物や香料・乳化剤といったような添加物の認証原料は入手が難しいこともあり、メンバー同士の情報交換は重要である。

## 4 交渉とサポート

RSPOはいまや世界中から5000以上の企業や団体が参加する巨大な組織だ。日

本からの1社での働きかけがRSPOの決定に影響を及ぼす可能性はほとんどないのが現状である。

しかし、日本企業の加盟企業数はRSPO加盟国の中でも多い。日本企業がひとつにまとまることで、RSPO本部に日本からの声を届けることができれば、実効性のあるRSPOのルールの変更の要望を働きかけることもできるのではないだろうか。

## 今後の課題

2022年12月現在におけるJaSPONへの参加企業数は44企業、2非営利団体である。同時点での日本企業のRSPO加盟企業数は284社。つまりJaSPONの加盟企業数は、RSPO加盟企業の2割に満たず、活動が広く認知されているとは言えないようだ。

「認証パーム油の調達と消費を加速させる」という目的\*を達成するためにはより活動を活性化させ、加盟企業を増やし、存在感を高めていくことが重要である。認証油を扱う企業に「JaSPONへの参加は必須だ」と思われるような組織となっていくことが必要である。

\*<https://jaspon.jp/about/>

# 日本企業のRSPO加盟数は 徐々に増え、280社を越えました

東京オリンピック、パラリンピックが終わった後も、RSPOに加盟する企業は徐々に増えています。

ここではRSPOのサイトに掲載されている企業のリストを掲載しました。(2022年10月現在)

## 正会員 Ordinary Member

### 消費財メーカー

- アサヒグループHD (株) 加 2016/12/29  
W <https://www.asahigroup-holdings.com>
- 味の素 (株)  
加 2012/8/9 W <https://www.ajinomoto.com>
- 江崎グリコ (株)  
加 2019/10/28 W <https://www.glico.com>
- S&Bエスビー食品 (株)  
加 2017/10/22 W <https://www.sbfoods.co.jp>
- 花王 (株)  
加 2007/4/4 W <https://kao.co.jp>
- カゴメ (株)  
加 2018/6/7 W <https://www.kagome.co.jp>
- (株)亀田製菓  
加 2016/7/27 W <https://www.kamedaseika.co.jp>
- カルビー (株)  
加 2017/10/12 W <https://www.calbee.co.jp>
- キュービー (株)  
加 2018/6/28 W <https://www.kewpie.com>
- キリンHD 加 2018/2/19  
W <https://www.kirinholdings.com/jp/>
- (株)コーセー  
加 2019/5/3 W <https://maison.kose.co.jp>
- (株)コープクリン  
加 2006/7/24 W <https://coopclean.co.jp>
- 堺化学工業 (株)  
加 2021/10/7 W <http://www.sakai-chem.co.jp/>
- サラヤ (株)  
加 2005/1/17 W <https://www.saraya.com>
- (株)資生堂  
加 2010/8/10 W <https://corp.shiseido.com>
- スジャーター・めいらく (株)  
加 2018/12/13 W <https://sujakta.co.jp>
- (株)ダイセル  
加 2018/8/28 W <https://www.daicel.com>
- 太陽油脂 (株)  
加 2011/3/24 W <https://www.taiyo-yushi.co.jp>
- タカナシ乳業 (株)  
加 2016/6/24 W <https://www.takanashi-milk.co.jp>
- 玉の肌石鹸 (株)  
加 2012/10/12 W <https://tamanohada.co.jp>
- 当栄ケミカル (株)  
加 2016/4/27 W <http://toeichemical.co.jp>
- 東洋水産 (株)  
加 2015/9/3 W <https://www.maruchan.co.jp>
- (株)ニイタカ  
加 2017/6/2 W <https://www.niitaka.co.jp>
- (株)ニチレイ  
加 2016/1/18 W <https://www.nichirei.co.jp>
- 日新化工 (株)  
加 2021/12/29 W <https://nissinkako.co.jp>
- 日清食品HD (株)  
加 2013/10/23 W <https://www.nissin.com>
- 日世 (株)  
加 2019/3/3 W <https://www.nissei-com.co.jp>

- 日本コルマー (株)  
加 2021/10/14 W <https://www.kolmar.co.jp/>
- 日本水産 (株)  
加 2019/11/11 W <https://www.nissui.co.jp/>
- 日本ハム (株)  
加 2020/8/11 W <https://www.nipponham.co.jp>
- ハウス食品グループ本社 (株)  
加 2018/1/14 W <https://housefoods-group.com>
- パスコ  
加 2022/8/15 W <https://www.pasconet.co.jp/>
- ピジョン (株)  
加 2020/12/25 W <https://www.pigeon.co.jp/>
- Fine Today 資生堂  
加 2022/4/1 W <https://www.finetoday.com/en>
- ファンケル (株)  
加 2018/7/10 W <https://www.fancl.jp/>
- フジパングループ本社 (株)  
加 2020/5/30 W <https://www.fujipan.co.jp>
- (株)不二家  
加 2018/8/27 W <https://www.fujiya-peko.co.jp>
- (株)ブルボン  
加 2019/10/2 W <https://www.bourbon.co.jp>
- (株)ペリカン石鹸  
加 2019/11/29 W <http://pelicansoap.co.jp>
- (株)ポーラ・オルビスHD  
加 2015/9/23 W <https://www.po-holdings.co.jp>
- (株)北海道フーズ  
加 2021/10/8 W <http://hfoods.co.jp/>
- (株)ポテトフード 加 2021/6/24  
W <https://www.pfoods.jp/index.html>
- マルハニチロ (株)  
加 2019/7/4 W <https://www.maruha-nichiro.co.jp>
- (株)マンダム  
加 2018/3/29 W <https://www.mandom.co.jp/>
- ミマスクリーニング (株)  
加 2010/9/1 W <http://mimasu-cc.co.jp>
- ミルボン (株)  
加 2019/3/14 W <http://www.milbon.com>
- (株)明治HD  
加 2016/3/17 W <https://www.meiji.co.jp>
- 森永製菓 (株)  
加 2019/10/30 W <https://www.morinaga.co.jp>
- 森永乳業 (株)  
加 2018/3/22 W <https://morinagamilk.co.jp>
- 山崎製パン (株)  
加 2020/2/21 W <https://www.yamazakipan.co.jp>
- (株)やまひろ  
加 2019/12/6 W <http://www.yamahiro.co.jp>
- 山芳製菓 (株)  
加 2021/9/17 W <https://www.8044.jp/>
- 雪印メグミルク (株)  
加 2018/7/10 W <https://www.meg-snow.com>
- ライオン (株)  
加 2006/3/26 W <https://www.lion.co.jp>
- (株)ロッテ  
加 2019/4/22 W <https://www.lotte.co.jp>

### パーム油加工流通

- 青木油脂工業 (株)  
加 2020/4/20 W <http://blaunon.co.jp>
- (株)ADEKA  
加 2012/10/18 W <https://www.adeka.co.jp>
- 伊藤忠商事 (株)  
加 2006/6/12 W <https://www.fujiioilholdings.com>
- 岩瀬コスファ (株)  
加 2017/4/10 W <https://www.cosfa.co.jp>
- 岩谷産業 (株)  
加 2019/3/3 W <http://www.iwatani.co.jp>
- 植田製油 (株)  
加 2017/9/11 W <https://www.uedaoil.co.jp>
- T,hasegawa  
加 2021/9/5
- HIS SUPER電力 (株)  
加 2019/3/22 W <https://www.his-power.jp>
- AGC (株) 加 2020/12/22  
W <https://www.agc.com/index.html>
- (株)エステム  
加 2022/9/12 W <https://eschem.co.jp>
- 太田油脂 (株)  
加 2018/1/14 W <https://www.ota-oil.co.jp>
- オレオトレード・インターナショナル  
加 2018/3/22
- (株)カネカ  
加 2017/8/17 W <https://www.kaneka.co.jp>
- カナダ (株)  
加 2017/12/14 W <https://www.kaneda.co.jp>
- 川研ファインケミカル (株)  
加 2012/4/5 W <https://www.kawakenfc.co.jp>
- 喜多組商事 (株)  
加 2018/7/17 W WEBなし
- 木村産業 (株)  
加 2019/5/5 W <http://kimsco.co.jp>
- 清田産業 (株)  
加 2019/6/28 W <https://www.kiyota-s.com>
- 研光通商 (株)  
加 2017/7/2 W <https://www.kenkoco.com>
- 高級アルコール工業 (株)  
加 2012/9/28 W <https://www.kak.co.jp>
- 合同酒精 (株)オノエングループ  
加 2016/3/18 W <https://onoen.jp>
- 興和 (株)  
加 2015/12/30 W <https://www.kowa.co.jp>
- 小倉合成工業 (株)  
加 2018/6/5 W <https://kokuragousei.co.jp>
- (株)小桜商会  
加 2018/5/31 W <http://www.kozakura.co.jp>
- 小松屋 (株)  
加 2018/10/3 W <http://www.komatsuya.co.jp>
- (株)コンフィテラ  
加 2022/4/29 W <https://www.confitera.co.jp/>
- 幸商事 (株)  
加 2017/3/26 W <http://www.saiwai.co.jp>

長引くパンデミック、ウクライナ危機、原料・輸送コストの値上がりと激動の1年でしたが、日本企業のRSPO加盟は増加しています。

RSPOの加盟団体は今や5000以上ですが、日本企業は280社（2022年10月、除くNPO、個人）、世界の中でも上位に位置しています。

阪本薬品工業(株) 加2012/9/14 W <a href="https://www.sy-kogyo.co.jp">https://www.sy-kogyo.co.jp</a>
(株)サンエース 加2015/8/10 W <a href="https://www.sunace-corp.com/">https://www.sunace-corp.com/</a>
三洋化成工業(株) 加2013/8/20 W <a href="https://www.sanyo-chemical.co.jp/">https://www.sanyo-chemical.co.jp/</a>
(株)J-オイルミルズ 加2011/10/31 W <a href="https://www.nisshin-oillio.com">https://www.nisshin-oillio.com</a>
正栄食品工業(株) 加2016/8/26 W <a href="https://shoefoods.co.jp">https://shoefoods.co.jp</a>
昭栄薬品(株) 加2017/1/21 W <a href="http://www.shoei-yakuhin.co.jp">http://www.shoei-yakuhin.co.jp</a>
昭和産業(株) 加2018/7/17 W <a href="https://www.showa-sangyo.co.jp">https://www.showa-sangyo.co.jp</a>
新日本理化(株) 加2015/7/9 W <a href="https://www.nj-chem.co.jp">https://www.nj-chem.co.jp</a>
住友商事(株) 加2019/11/11 W <a href="https://www.sumitomocorp.com/ja/jp">https://www.sumitomocorp.com/ja/jp</a>
ゼロワットパワー(株) 加2018/11/29 W <a href="https://zerowattpower.co.jp">https://zerowattpower.co.jp</a>
第一工業製薬(株) 加2014/7/24 W <a href="https://www.dks-web.co.jp">https://www.dks-web.co.jp</a>
太陽化学(株) 加2017/2/14 W <a href="https://www.taiyokagaku.com">https://www.taiyokagaku.com</a>
高砂香料工業(株) 加2017/9/10 W <a href="http://www.takasago.com/en/index.html">http://www.takasago.com/en/index.html</a>
月島食品工業(株) 加2014/10/24 W <a href="https://tsukishima.co.jp">https://tsukishima.co.jp</a>
築野食品工業(株) 加2019/1/18 W <a href="https://www.tsuno.co.jp/">https://www.tsuno.co.jp/</a>
テイカ(株) 加2012/8/17 W <a href="http://www.tayca.co.jp">http://www.tayca.co.jp</a>
東京産業(株) 加2018/12/6 W <a href="https://www.tscm.co.jp">https://www.tscm.co.jp</a>
東邦化学工業(株) 加2013/4/29 W <a href="https://toho-chem.co.jp/">https://toho-chem.co.jp/</a>
東洋合成工業(株) 加2020/12/18 W <a href="https://www.toyogosei.co.jp/">https://www.toyogosei.co.jp/</a>
豊田通商(株) 加2015/5/28 W <a href="https://www.toyota-tsusho.com">https://www.toyota-tsusho.com</a>
長瀬産業(株) 加2017/8/29 W <a href="https://www.nagase.co.jp">https://www.nagase.co.jp</a>
日油(株) 加2012/10/15 W <a href="http://www.nof.co.jp">http://www.nof.co.jp</a>
日華化学(株) 加2017/11/13 W <a href="https://www.nicca.co.jp">https://www.nicca.co.jp</a>
日光ケミカルズ(株) 加2011/2/9 W <a href="https://www.nikkol.co.jp">https://www.nikkol.co.jp</a>
日清オイリオグループ(株) 加2004/6/24 W <a href="https://www.nisshin-oillio.com">https://www.nisshin-oillio.com</a>
日本食品(株) 加2019/8/16 W <a href="https://nisshoku-co.co.jp">https://nisshoku-co.co.jp</a>
(株)日本ファインケム 加2019/2/15 W <a href="https://www.jfine.co.jp/">https://www.jfine.co.jp/</a>
日本サーファクタント工業(株) 加2018/1/15 W <a href="https://www.ns-utsunomiya.com/">https://www.ns-utsunomiya.com/</a>

日本国内では、RSPO創立当時はほとんど加盟はありませんでしたが、2015年ごろから増加しはじめ、東京オリンピック・パラリンピックを控えた2019年には52社も一気に増えました。その後も一時の勢いはないものの、徐々に増えています。

RSPO加盟だけでなく、認証油への切

(株)日本触媒 加2016/7/26 W <a href="https://www.shokubai.co.jp/ja/">https://www.shokubai.co.jp/ja/</a>
(株)日本発電工業 加2018/8/27 W <a href="https://nhkogyo.co.jp">https://nhkogyo.co.jp</a>
(株)ハシモトテクニカルサービス 加2020/4/20 W <a href="http://hashimoto-technical.com">http://hashimoto-technical.com</a>
汎アジア貿易(株) 加2017/10/19 W <a href="https://www.panasian.jp/Japansite/">https://www.panasian.jp/Japansite/</a>
不二製油グループ本社(株) 加2004/9/8 W <a href="https://www.fujioilholdings.com">https://www.fujioilholdings.com</a>
富士通商(株) 加2019/1/16 W <a href="http://www.fujitusyou.com">http://www.fujitusyou.com</a>
(株)ブルーキャピタルマネージメント 加2020/10/6 W <a href="http://www.bcm-co.jp/">http://www.bcm-co.jp/</a>
丸善薬品産業(株) 加2012/8/27 W <a href="https://www.maruzen-chem.co.jp">https://www.maruzen-chem.co.jp</a>
丸善石油化学(株) 加2016/11/7 W <a href="https://www.chemiway.co.jp">https://www.chemiway.co.jp</a>
丸紅(株) 加2015/2/22 W <a href="https://www.marubeni.com/jp/">https://www.marubeni.com/jp/</a>
三井化学(株) 加2015/9/16 W <a href="https://www.mitsuichemicals.com/index_jp.htm">https://www.mitsuichemicals.com/index_jp.htm</a>
三井物産(株) 加2008/3/11 W <a href="https://www.mitsui.com">https://www.mitsui.com</a>
三菱ケミカル(株) 加2017/11/7 W <a href="https://www.m-chemical.co.jp">https://www.m-chemical.co.jp</a>
三菱商事(株) 加2004/8/4 W <a href="https://www.mitsubishicorp.com">https://www.mitsubishicorp.com</a>
ミヨシ油脂(株) 加2017/9/21 W <a href="https://www.miyoshi-yushi.co.jp">https://www.miyoshi-yushi.co.jp</a>
明和エンジニアリング(株) 加2019/1/17 W <a href="https://meiwa-engineering.co.jp">https://meiwa-engineering.co.jp</a>
横関油脂工業(株) 加2018/8/27 W <a href="http://yokozeki-yushi.jp">http://yokozeki-yushi.jp</a>
(株)ラデッシュ・ソリューション 加2019/1/9 W <a href="http://www.radish.co.jp">http://www.radish.co.jp</a>
理研ビタミン(株) 加2016/1/12 W <a href="https://www.rikenvitamin.jp">https://www.rikenvitamin.jp</a>
LOPS(株) 加2019/4/27 W <a href="http://lops.co.jp">http://lops.co.jp</a>

## 小売り

(株)セブン&アイ・ホールディングス 加2020/1/30 W <a href="https://www.7andi.com">https://www.7andi.com</a>
パルシステム生活協同組合連合会 加2021/8/24 W <a href="https://www.pal.or.jp/about/english/">https://www.pal.or.jp/about/english/</a>
日本生活協同組合連合会 加2017/10/25 W <a href="https://jccu.coop">https://jccu.coop</a>
イオン(株) 加2018/12/20 W <a href="https://www.aeon.info">https://www.aeon.info</a>

## NGO

ボルネオ保全トラスト・ジャパン 加2019/5/27 W <a href="https://www.bctj.jp">https://www.bctj.jp</a>
---

り替えも少しずつ進んでいます(P8~15参照)。

RSPOでは、パーム油関連の取扱量が500トン以上の企業は正会員で年会費200EUROです。取扱量500トン未満は準会員で100EUROです。

どちらも年次報告書(ACOPレポート)の提出が求められています。

## 準会員 Supply Chain Associate Member

### サプライチェーンアソシエイト

アーク(株) / (株)アイセロ / I・T・O(株) / 旭化成ファインケム(株) / アステナホールディングス(株) / イエナ商事(株) / 池田糖化工業(株) / 池田物産(株) / 稲垣薬品興業(株) / イヌイ(株) / (株)乾工業所 / 今中(株) / 井村屋(株) / (株)岩田商会 / UHA味覚糖グループ / 宇津商事(株) / (株)永廣堂本店 / 永和(株) / NSファーマ・ジャパン(株) / (有)エムコ食品 / オーケム通商(株) / (株)オーケム / 大阪油脂工業(株) / 岡畑産業(株) / 化成品商事(株) / 加藤産業(株) / 兼松ケミカル(株) / ガラムエンタープライズ(株) / 川原石油化学(株) / KISCO(株) / 木曾産業(株) / 北沢産業(株) / 共栄社化学(株) / (株)クラウン・パッケージ / ケーアイケミカル(株) / 研三商事(株) / 宏輝(株) / 光洋商会(株) / 交洋ファインケミカル(株) / 交洋貿易(株) / コーケンフード&フレイバー(株) / (株)コスメナチュラリス / 寿貿易 / 桜井食品(株) / THE SAKUEA GREEN(株) / 佐々木化学(株) / (株)サノ / 三栄源エフ・エフ・アイ(株) / 三光(株) / 三洲食研(株) / 三晶(株) / (株)サン・ダイコー / サン・バシフィック・エンタープライズ(株) / (株)三陽商会 / 三洋貿易(株) / 三和油脂興業(株) / (株)GSIクレオス / シードルック(株) / (株)シバハンケミファ / 渋谷油脂(株) / 島貿易(株) / 昭和興産(株) / 信越化学工業(株) / 新日本ケミカル(株) / 住商ファーマインターナショナル(株) / 生活クラブ生協 / セイワサプライ(株) / (株)成和化成 / Save the Ocean(株) / セティ(株) / センス&トリクス(株) / (株)創健社 / ソーダニッカ(株) / (株)タイキ / タイキン工業(株) / 大東化成工業(株) / 大同化成工業(株) / 大日精化工業(株) / 太平洋化学産業(株) / 高田香料(株) / (株)立花商店 / チタン工業(株) / (株)地の塩社 / 千葉製粉(株) / 蝶理(株) / ティックファイン(株) / (株)デリー・インポート / (株)テクノーブル / デムライト(株) / 東亜化成(株) / 東振化学(株) / 東北化学薬品(株) / 東洋サイエンス(株) / 東洋ナッツ食品(株) / トーアス(株) / トーエー食品(株) / (株)トキワ / トビー工業(株) / 中沢乳業(株) / 中日本カプセル(株) / ナショナル美松(株) / 南海化学(株) / (株)ナンバーズ / 西野金稜(株) / 日弘ビックス(株) / 日産化学(株) / 日清化成 / (株)日東物産商事 / 日本板硝子(株) / 日本エマルジョン(株) / 日本コーンスターチ(株) / (株)ネイチャーズウェイ / (株)ネクスト・イノベーション / BIO ACTIVES JAPAN(株) / 林六(株) / (一社)ハンドソープ協会 / 比果産業(株) / 日比忠(株) / フィグラ(株) / 不二化成(株) / フジサワ化成(株) / 藤本化学製品(株) / ベンチャーケミカル(株) / 豊国製油(株) / ボッカサッポロフード&ピバレッジ(株) / (株)ホテイフーズ / 本城化成(株) / (株)マツモト交商 / 松山油脂(株) / 丸善製薬(株) / (株)雅化成 / 三好化成(株) / (株)武蔵野化学研究所 / 睦物産(株) / 明光化学(株) / (株)メディプラス製薬 / 森下産業(株) / 森下仁丹(株) / 山本通産(株) / 油化産業(株) / 油脂製品(株) / ユニチャーム(株) / ユニバーサル・デタージェント(株) / (有)リンデン / 綿半トレーディング(株)

## 賛助会員

個人

マークの読み解き方 加=加入年月日 W=WEB
----------------------------

# 日本の消費財メーカー49社の報告書から、 認証品への切り替えの実態を調査

日本企業はRSPOへの取り組みが不十分、認証油の導入も進んでいないとよくいわれますが、具体的な数字はあまりでてきません。ここでは、食品やパーソナルケアなどの消費財メーカーのACOPレポートで、パーム製品の使用量、認証品への切り替え率などを個別にデータを集めました。

ACOPレポートは、RSPO会員が毎年提出することを課せられている年間報告書です。パーム油、核油などパーム油関連の製品の使用量、認証品の使用量、それらを使用する地域、認証品に100%切り替える目標年、RSPOの認証マークをつける意志の有無のほか、土地利用、水利用、労働者の権利など詳しい設問に回答していく形式です。これを読めば使用実態、認証品への切り替え方針などさまざまなことがわかります。ただし、報告書の内容は提出されたまま掲載され、RSPOはチェックしていません。

日本は認証品への切り替えが遅れている、フィジカルな認証品を導入していないと言われていますが、実際にどの程度使用されているかは個別に見ていかないと実態はわかりません。

食品や洗剤などの日用品は消費者にとって身近であり、自分たちで選べるものです。消費者は認証品を買うことで生物多様性保全を応援することになります。

## 食品企業

RSPO正会員の日本の食品メーカー34社のうち、ACOPレポート2021がサイト上で確認できたのは30社、そのほとんどは誰でも名前を知っている大手企業です。

食品企業では、パーム油は、インスタント麺やポテトチップス、業務用揚げ油など、核油はマーガリンなど、パーム油と核油の派生品はチョコレート菓子や冷凍食品などさまざまな用途に使われています。

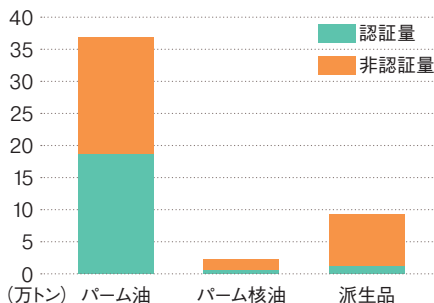
30社の使用量は、パーム油36.8万トン、日本のパーム油輸入総量は70万トンですから、30社だけで約半分、そのインパクトは大きいものです。派生品の使用

量は9.2万トン、核油が2.2万トンでした。パーム核ケーキは使用されていません。

認証品の使用量を見ると、パーム油では18万トン、50%が認証品に切り替えられています。一方、認証品への切り替えは核油で27%。派生品で13%とあまり進んでいません。

2020東京オリンピックを契機に、日本企業ではRSPO加盟が急増し、認証油への切り替えも進んできました。ただ、派生品は、サプライチェーンが複雑なこと、認証品自体少ないこともあってに認証品への切り替えは難しいようです。

### 食品30社のパーム油関連使用量



### 認証品のグレード

RSPOの認証は、IPとSG（単一もしくは複数の認証農園から最終製品メーカーまで、非認証品と混じることがない100%認証品）、MB（認証品と非認証品が混じるが、その比率は明確になっている）、B&C（認証品のクレジットが、農園と最終製品メーカー、販売者とオンライン取引される。認証品は含まれない）の4つのグレードに分かれています。

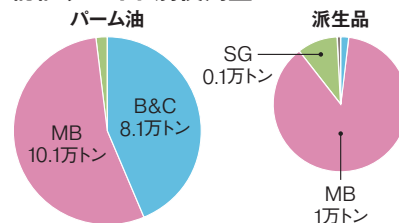
RSPO発足当時はB&Cが多かったですが、現在では実際に認証品が入っているフィジカルな認証品MB以上を使うことをRSPOでは推奨しています。

30社の認証品のグレードを調べると、パーム油ではB&Cが43%、MBは54%で

す。B&Cは入手しやすいので、まずはB&Cから始めることが多いようです。

一方、派生品は加工が必要なため、MB以上がほとんどです。ですから派生品は入手にくいといえます。

### 認証グレード別使用量



### パーム関連の使用量が多い企業

#### ■日清食品

インスタント麺の売上第1位（3900億円 2021）のトップメーカーで、使用量は13.3万トンととびぬけて多いです。核油や派生品は使用しておらず全量がパーム油です。

認証品は4.8万トンで、認証品の比率は38%です。認証品のグレードはMBが4.2万トン、SGが0.3万トンで、将来問題になりそうなB&Cはほとんど使っていません。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに合わせて、カップヌードルに認証マークをつけて販売開始しました。

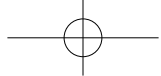
#### ■東洋水産

売上第2位（2092億円 2021）のメーカーで、パーム油の使用量は7.3万トンです。認証品は5.7万トンで、認証品の比率は70%です。認証のグレードの内訳はB&C1.2万トン、MBが4.4万トン。認証品は北米で多く使われています。

#### ■山崎製パン

使用量は5.4万トンですが、すべて派生品で、パーム油や核油は使っていません。認証品は24トンとごくわずかです。





認証マークをつける予定があるそうです。

### ■カルビー

ポテトチップス市場のシェア50%以上を占めるカルビーは、パーム関連で使用しているのはパーム油だけで、使用量は4.1万トンです。

認証品は4.1万トン、全量が認証に切り替えられています。認証のグレードは、B&C2.3万トン、MB1.9万トンです。

2022年、認証マークをつけたポテトチップスが販売されました。

### ■味の素

使用量は全体で3.7万トン、内訳はパーム油2.5万トン、核油1万トン、派生品が0.1万トンです。認証品はそれぞれ1万トン、0.2万トン、0.06万トンです。EU市場が大きく、認証品はいずれもMB以上で調達されています。

### ■明治

使用量はパーム油1.1万トン、核油0.1万トン、派生品は0.8万トンで合計2万トンです。認証品はそれぞれ0.9万トン、0.08万トン、0.7万トンで、MBが中心です。

### ■江崎グリコ

使用量はパーム油1.7万トン、核油0.4万トン、合計2.1万トンです。認証品はパーム油で0.06万トン、核油で0.1万トンで、全体の認証率は8%です。

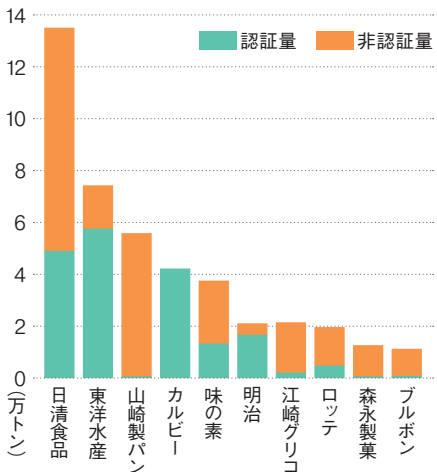
### ■ロッテ

使用しているのは派生品のみで1.9万トンです。認証品は0.4万トンで、認証率は21%です。

### ■森永製菓

使用総量1.2万トンで、その97%はパーム油です。認証品は50トンだけです。

### 食品企業別パーム関連使用量



### ■ブルボン

使用総量は1.1万トンで、パーム油が0.9万トン、パーム核油が0.2万トンです。認証品はパーム油515トンです。

なお、グラフには入っていませんが、以下の2社にもふれておきます。

### ■キュービー

使用総量は5500トンですが、すべてパーム油です。認証品は5499トンとほぼ100%、B&Cで調達しています。

### ■ニチレイ

使用総量5423トンですべてパーム油です。全量、認証品で、B&Cが95%を占めます。

### RSPO認証マークについて

持続可能な社会に関心がある人たちが、環境や人権に配慮した製品を購入したいとき、わかりやすい目安になるのが認証マークです。

自社ブランドを持つ25社にRSPOの認証マークを使用、あるいは使用予定という企業は、日清食品、カルビー、味の素、グリコ、ブルボン、ニチレイ、スジャータ、ハウス食品、山崎製パンの9社です。実際に認証マークがついたカップ麺やお菓子が売られています。

一方、認証マークをつけない企業は16社です。その理由は選択式・重複回答可で、①パーム油の評判が悪い(1社)、②消費者が混乱する(2社)、③ラベルの変更費用が高い(5社)、④RSPOへの申請が難しい(2社)、⑤顧客ニーズがない(7社)、⑥スペースがない(7社)、⑦消費者意識の低さ(12社)、⑧パーム油(関連品)の使用量が少ない(3社)、⑨供給途絶リスクがある(2社)、⑩その他(2社)でした。

## パーソナルケア企業

RSPO正会員の日本のパーソナルケアメーカー21社のうち、ACOPレポート2021がサイト上で確認できたのは19社、そのほとんどはなじみのある企業です。

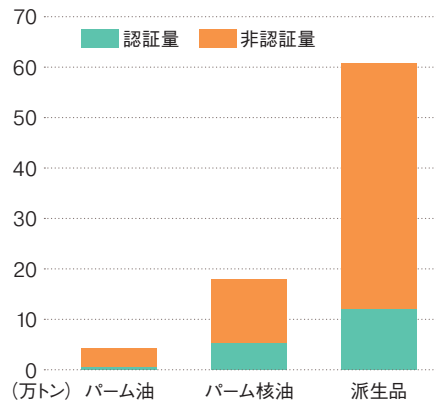
パーソナルケア企業では、洗剤や石鹸、シャンプー・リンス、化粧品などに、パーム油や核油、派生品を使います。水分と油分など本来混ざらないものをくっつける界面活性剤は、パーム製品から作ら

れます。

19社の使用量は、パーム油4.4万トン、核油が18.4万トン、派生品が62.2万トンでした。パーム核ケーキは使用されていません。

認証品の使用量を見ると、パーム油では0.6万トン、核油が5.3万トン、派生品が12.4万トンでした。認証品への切り替えはパーム油で13%、核油で29%、派生品で20%と、決して多いとは言えません。

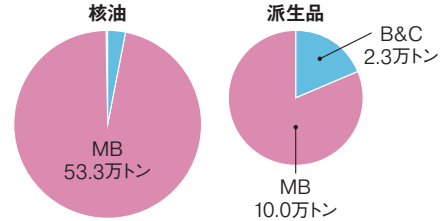
### パーソナルケア企業19社のパーム油関連使用量



### 認証のグレード20

19社の認証品のグレードを調べるといずれもMBが圧倒的に多いです。パーム油は83%、核油で96%、派生品は81%です。パーム油はB&Cが16%あります。SGとIPはほとんどありません。

### 認証グレード別使用量



### パーム関連の使用量が多い企業

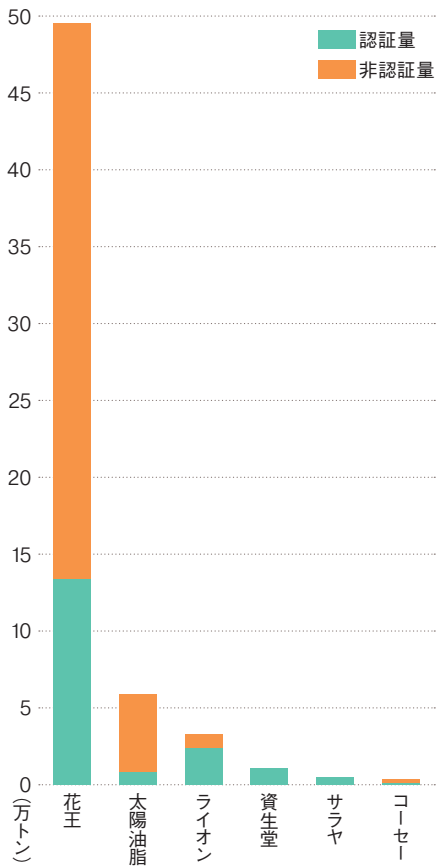
#### ■花王

使用総量は49.5万トンと圧倒的な量で、内訳は核油16.6万トン、派生品が32.9万トンです。核油の認証品は5.2万トン、MBで調達しており、認証率は31%です。認証派生品はMBで7.1万トン、B&Cで1万トン調達されおり、認証率は25%です。

EU、マレーシア、インドネシア、日本と全世界で事業展開しています。RSPOの認証マークは台湾で使用されていますが、日本ではまだのようです。

## ACOPレポート研究

### パーソナルケア企業別パーム関連使用量



### ■太陽油脂

使用量は、パーム油3.7万トン、核油1.5万トン、派生品0.6万トンで、総量は5.8万トンです。認証品はパーム油0.4万トンをMBで、核油0.2万トンは主にMBで、派生品2万トンはMBで調達しています。全体の認証率は14%です。認証マーク製品が販売されています。

### ■ライオン

使用しているのは派生品だけで3.2万トンです。認証品はMBで2.4万トン調達しており、認証率は74%になっています。認証マークをつける予定はないそうです。

### ■資生堂

使用総量は1万トンで、99%以上は派生品です。新勝率は100%で、派生品はB&Cで0.75万トン、MBで0.27万トンです。認証マークの使用については検討中だそうです。

### ■サラヤ

使用量は核油0.1万トン、派生品が0.3万トン、パーム油少量で、総量は0.45万

トンです。認証率は100%で、B&CをメインにMBで調達しています。RSPOの認証マークは、日本の中ではいち早く2010年からつけています。

以上にあげた5社以外の企業は、コーセー、マンダム、ファンケルなどよく知られた企業でも、使用総量は4000トンに届きません。購入量が少ないと認証品を入手しにくいので、共同購入も検討されているそうです。

### RSPO認証マークについて

自社ブランドを持つ17社にRSPOの認証マークを使用、あるいは使用予定という企業は、サラヤ、太陽油脂、玉の肌石鹸、コープクリーン、ピジョンなど12社あります。

認証マークの使用を、「考慮中」が3社、2社は使用しない意向です。理由として、①パーム油の評判が悪い、③ラベルの変更費用が高い⑤顧客ニーズがない、⑥スペースがない、⑦消費者の意識が低いことを挙げています。

## 企業別データの読み方 [P11~P15]

RSPOに提出されたACOPレポート2021からの抜粋です。

パーム油などの全体使用量、認証品の使用量など実態がわかります。数字はレポートを転記し、比率は編集部で計算しています。

ここでは認証品はグレード別

にせず、まとめて掲載していますが、RSPOのサイトからACOPレポートにアクセスすれば、認証品のグレード(B&C、MB、SG、IP)も見るができます。RSPOの認証マークについての取り組みなどが掲載されています。

## アサヒHD

自社ブランドを持つ企業 (TMマーク可能)  
 自社ブランドを持たない企業 (TMマーク関係なし)  
 RSPO加盟 2016年

	A 使用総量(t)	B 認証使用量(t)	C 認証品使用比率
1 パーム油 (CPO)	3000	610	20.3%
2 パーム核油 (PKO)	780	0	0.0%
3 パーム核ケーキ (PKC)	0	0	-
4 パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
5 使用量合計	3780	610	16.1%
6 使用地域	マレーシア	マレーシア	

7 自社ブランドの有無: ○ 8 認証マーク使用の有無: × 9 どこで使う: □□□□  
 □□□□ 10 いつから使う?: □□□□□□□□□□ 11 使わない理由: ①~⑩

### A 使用総量 (認証+非認証)

RSPOの認証を取った認証品と、認証を取っていない非認証品の使用量の合計。

### B 認証使用量

RSPO認証のグレードはB&C、MB、SG、IPに分かれるが、その合計。ACOPレポートにはグレード別の表記されている。

### C 認証品使用比率

認証品の使用量÷使用総量で計算した比率。編集部で算出。

### 1 パーム油 (CPO)

アブラヤシの果房の実を絞って精製する油。精製前の状態。Crude Palm Oil。

### 2 パーム核油 (PKO)

アブラヤシの果房のタネを絞って生成する油。Palm Kernel Oil。ラウリン酸を多く含み、ヤシ油に成分が似ている。マーガリンや洗剤の材料になる。

### 3 パーム核ケーキ (PKC)

アブラヤシのタネからパーム核油を搾った搾りかす。タンパク質含有量が多く、動物の飼料に使われる。Palm Kernel Cake。

### 4 パーム油・パーム核油の派生品

パーム油やパーム核油などから、加工して生成するパームステアリン、パームオレイン。パルミチン酸などの成分。

### 5 使用量合計

パーム油、パーム核油、パーム核ケーキ、パーム油・パーム核油の派生品の使用量合計。

### 6 使用地域

ACOPでは、ヨーロッパ、北米、マレーシア、インドネシア、中国、インド、ラテンアメリカ、アフリカ、残りの地域に分類。ここではヨーロッパはEUと表記。残りの地域は東アジアなども含まれるが、便宜上日本と表記した。

### 7 自社のブランドの有無

製造メーカーが自ら販売するブランドがあれば、認証マークをつけるか否かは判断する。

### 8 認証マーク使用の有無

RSPOの認証マークを使用中、もしくは使用予定があるか否か。

### 9 どこで使う

認証マークつき商品はどこの国で販売するのか。

### 10 いつから使う?

認証マークつき商品はいつから販売(予定)なのか。

### 11 使わない理由 (複数回答可)

- ① パーム油の評判が悪い
- ② 最終消費者が混乱する
- ③ ラベルの変更費用が高い
- ④ RSPOへの申請が難しい
- ⑤ 顧客ニーズがない
- ⑥ スペースがない
- ⑦ 消費者意識の低さ
- ⑧ パーム油使用量が少量
- ⑨ 供給途絶リスク
- ⑩ その他

## アサヒHD★

RSPO加盟 2016年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	3000	610	20.3%
パーム核油(PKO)	780	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	3780	610	16.1%
使用地域	マレーシア	マレーシア	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:③⑤⑥⑧

## 味の素★

RSPO加盟 2012年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	25498	10086	39.6%
パーム核油(PKO)	9966	2110	21.2%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	1309	617	47.1%
使用量合計	36773	12813	34.8%
使用地域	日本54%、EU33%、 中南米7%	日本19%、 EU59%、北米5%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:全世界的にアプライ いつから使う?:2015 使わない理由:-

## 江崎グリコ★

RSPO加盟 2019年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	16838	572	3.4%
パーム核油(PKO)	4040	1145	28.4%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	20878	1721	8.2%
使用地域	日本99%、 中国1%	日本99%、 中国1%	

自社ブランドの有無:- 認証マーク使用の有無:○ どこで使う:カナダ、  
中国インドネシア、日本、タイ、米国 いつから使う?:2021 使わない理由:-

## エスビー★

RSPO加盟 2017年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	7250	1260	17.4%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	7250	1260	17.4%
使用地域	日本46%、北米 40%、EU10%	日本46%、北米 40%、EU10%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:②③⑥

## カゴメ★

RSPO加盟 2018年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	28.3	0	0.0%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	982	205	20.9%
使用量合計	1010.3	205	20.3%
使用地域	日本3%、 北米97%	北米100%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:⑤

## 亀田製菓★

RSPO加盟 2016年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	0	-
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	2816	421	15.0%
使用量合計	2816	421	15.0%
使用地域	日本97%、 北米3%	どこも0%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:⑤⑦

## カルビー★

RSPO加盟 2017年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	41355	41355	100.0%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	41355	41355	100.0%
使用地域	日本98%、 インドネシア2%	記載なし	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本 いつから使う?:2022 使わない理由:-

## キューピー★

RSPO加盟 2018年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	5500	5499	99.9%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	5500	5499	99.9%
使用地域	日本99%、 マレーシア1%	日本99%、 マレーシア1%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:④⑤⑦⑧

## スジャータ★

RSPO加盟 2018年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	500	95	19.0%
パーム核油(PKO)	862	176	20.4%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	1362	271	19.9%
使用地域	日本	0	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本 いつから使う?:2020 使わない理由:?????

## タカナシ乳業★

RSPO加盟 2016年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	874.5	296	33.8%
パーム核油(PKO)	742.2	5	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	1616.7	301	18.6%
使用地域	日本	日本	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:⑩現時点では特定のグループしかRSPOマークを要求していない

## ACOPLレポート研究

### 東洋水産★

RSPO加盟 2015年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	73000	56500	77.4%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	73000	56500	77.4%
使用地域	日本60%、 北米40%	北米93%、 日本7%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:③⑥⑨

### ニチレイ★

RSPO加盟 2016年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	5423	5423	100.0%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	5423	5423	100.0%
使用地域	日本70%、 EU30%	日本70%、 EU30%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本 いつから使う?:2019 使わない理由:⑩※1

### 日清食品★

RSPO加盟 2013年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	133300	48036	36.0%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	133300	48036	36.0%
使用地域	日本43%、中南米 21%、北米17%	日本47%、北米 47%、EU6%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:ドイツ、日本 いつから使う?:2020 使わない理由:-

### 日世★

RSPO加盟 2019年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	671	112	16.7%
パーム核油(PKO)	141	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	156	0	-
使用量合計	968	112	11.6%
使用地域	その他	その他	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:× いつから使う?:× 使わない理由:③⑤

### 日本ハム★

RSPO加盟 2020年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	3709	0	0.0%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	3709	0	0.0%
使用地域	日本85%、 マレーシア14%		

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:④⑤⑥⑦

### ハウス食品★

RSPO加盟 2015年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	6353	2140	33.7%
パーム核油(PKO)	424	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	6777	2140	31.6%
使用地域	日本	日本	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:ベトナム いつから使う?:2021 使わない理由:-

### 不二家★

RSPO加盟 2018年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	0	-
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	5000	0	-
使用量合計	5000	0	0.0%
使用地域	日本	0	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:⑦

### ブルボン★

RSPO加盟 2019年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	8627	515	6.0%
パーム核油(PKO)	2170	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	10797	515	4.7%
使用地域	日本	日本	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本 いつから使う?:2022 使わない理由:-

### マルハニチロ★

RSPO加盟 2019年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	1881	0	0.0%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	1881	0	0.0%
使用地域	その他	0	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:未定 いつから使う?:未定 使わない理由:⑦

### 森永製菓★

RSPO加盟 2019年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	11817	50	0.4%
パーム核油(PKO)	341	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	12158	50	0.4%
使用地域	その他	その他	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:③⑤⑥⑦⑨

## 明治★

RSPO加盟 2016年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	11453	8708	76.0%
パーム核油(PKO)	1001	820	81.9%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	8026	6553	81.6%
使用量合計	20480	16081	78.5%
使用地域	日本82%、北米13%、 インドネシア4%	日本83%、 北米17%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:①⑦⑩<sup>\*2</sup>

## 森永乳業★

RSPO加盟 2018年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	2568	2568	100.0%
パーム核油(PKO)	1969	1969	100.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	252	252	100.0%
使用量合計	4789	4789	100.0%
使用地域	日本	-	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:④⑤⑥⑦

## 山崎製パン★

RSPO加盟 2020年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	0	-
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	54800	24.4	-
使用量合計	54800	24.4	0.0%
使用地域	日本	日本	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本 いつから使う?:2026 使わない理由:?????

## 雪印メグミルク★

RSPO加盟 2016年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	1100	220	20.0%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	1100	220	20.0%
使用地域	日本	日本	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:⑤⑦

## ロッテ★

RSPO加盟 2019年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	0	-
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	19047	4151	21.8%
使用量合計	19047	4151	21.8%
使用地域	日本84%、EU8%、 インドネシア8%	日本63%、 EU37%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:①~⑩

\*2 ①⑦⑩RSPO認証ラベル[MIXED]を表示するための要件は非常に厳しいです。95%またはという要件最終製品に含まれるパーム油の多くは、物理的なサプライチェーンモデルを通じて認証する必要があります。ディッカーこの割合は、将来の改訂で厳しくなる可能性があります。さらに、パッケージやカタログに[MIXED]のラベルを付けて印刷することが許可されているメッセージはありません。ポジティブな表現。したがって、[MIXED]の表示が消費者にプラスの影響を与えるかどうかは非常に不透明です。

## フジパングループ本社★

RSPO加盟 2021年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	1100	1100	100.0%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	1100	1100	100.0%
使用地域	日本	0	

自社ブランドの有無:× 認証マーク使用の有無:-  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:-

## ヤマヒロ★

RSPO加盟 2019年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	700	192.81	27.5%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	700	192.81	27.5%
使用地域	日本	日本	

自社ブランドの有無:× 認証マーク使用の有無:-  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:-

## 日本水産会社★

RSPO加盟 2019年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	1917	0	0.0%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	1917	0	0.0%
使用地域	日本		

自社ブランドの有無:× 認証マーク使用の有無:-  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:-

## 北海道フーズ★

RSPO加盟 2021年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	589	0	0.0%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	589	0	0.0%
使用地域	日本	0	

自社ブランドの有無:× 認証マーク使用の有無:-  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:-

## ポテトフーズ★

RSPO加盟 2021年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	3236	0	0.0%
パーム核油(PKO)	0	0	-
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	-
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	-
使用量合計	3236	0	0.0%
使用地域	日本	0	

自社ブランドの有無:× 認証マーク使用の有無:-  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:-

## ACOPLレポート研究

### 花王(株)★

RSPO加盟 2007年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	0	0.0%
パーム核油(PKO)	166482	51679	31.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	328952	81781	24.9%
使用量合計	495434	133460	26.9%
認証油使用地域	マレーシア47%、マレーシア54%、 日本41%、EU7% 日本37%、EU9%		

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:台湾 いつから使う?:2019 使わない理由:-

### (株)コーセー★

RSPO加盟 2019年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	55	55	100.0%
パーム核油(PKO)	237	237	100.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	2855	275	9.6%
使用量合計	3147	567	18.0%
認証油使用地域	日本60%、中国 日本60%、中国 25%、北米10% 25%、北米10%		

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:-  
使わない理由:@UNDER CONSIDERATION

### (株)コープクリーン★

RSPO加盟 2006年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	0	0.0%
パーム核油(PKO)	0	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	1354	337	24.9%
使用量合計	1354	337	24.9%
認証油使用地域	日本100% 日本100%		

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本 いつから使う?:2018 使わない理由:-

### サラヤ(株)★

RSPO加盟 2005年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	23	23	100.0%
パーム核油(PKO)	1078	1078	100.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	3441	3441	100.0%
使用量合計	4542	4542	100.0%
認証油使用地域	日本100% 日本100%		

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本 いつから使う?:2010 使わない理由:-

### (株)資生堂★

RSPO加盟 2010年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	18	18	100.0%
パーム核油(PKO)	0	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	10314	10314	100.0%
使用量合計	10332	10332	100.0%
認証油使用地域	日本87%、中国 日本90%、中国 12%、北米1% 9%、北米1%		

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:-  
使わない理由:@Under Consideration

### 太陽油脂(株)★

RSPO加盟 2011年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	36852	4359	11.8%
パーム核油(PKO)	15296	1518	9.9%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	6269	2254	36.0%
使用量合計	58417	8131	13.9%
認証油使用地域	日本100% すべて0		

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本 いつから使う?:2015 使わない理由:-

### 玉の肌石鹸(株)★

RSPO加盟 2012年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	532	400	75.2%
パーム核油(PKO)	698	141.3	20.2%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	0.0%
使用量合計	1230	541.3	44.0%
認証油使用地域	日本100% 日本100%		

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本 いつから使う?:2013 使わない理由:-

### (株)ニイタカ★

RSPO加盟 2017年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	0	0.0%
パーム核油(PKO)	103	10	9.7%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	0.0%
使用量合計	103	10	9.7%
認証油使用地域	日本100% 日本100%		

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本 いつから使う?:2017 使わない理由:-

### ピジョン(株)★

RSPO加盟 2020年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	0	0.0%
パーム核油(PKO)	0	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	522	59	11.3%
使用量合計	522	59	11.3%
認証油使用地域	日本100% 日本95%、 インドネシア5%		

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本、シンガポール いつから使う?:2021 使わない理由:-

### ファンケル(株)★

RSPO加盟 2018年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	1090.35	1084.3	99.4%
パーム核油(PKO)	362.65	330.5	91.1%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	0.0%
使用量合計	1453	1414.8	97.4%
認証油使用地域	日本100% 日本100%		

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本 いつから使う?:2022 使わない理由:-

## (株)ペリカン石鹸★

RSPO加盟 2019年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	0	0.0%
パーム核油(PKO)	0	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	822	13.2	1.6%
使用量合計	822	13.2	1.6%
認証油使用地域	日本100%	日本100%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本 いつから使う?:2021 使わない理由:-

## (株)ポーラ・オルビスHD★

RSPO加盟 2015年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	0	0.0%
パーム核油(PKO)	0	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	1100	1100	100.0%
使用量合計	1100	1100	100.0%
認証油使用地域	日本95%、 中国5%	日本100%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:× どこで使う:-  
いつから使う?:- 使わない理由:⑩Under Consideration

## (株)マンダム★

RSPO加盟 2018年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	0	0.0%
パーム核油(PKO)	0	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	1176	282	24.0%
使用量合計	1176	282	24.0%
認証油使用地域	日本100%	日本100%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:①③

## ミマスクリーニング(株)★

RSPO加盟 2010年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	2	0.0%
パーム核油(PKO)	34	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	716	0	0.0%
使用量合計	750	2	0.3%
認証油使用地域	日本100%	日本100%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本 いつから使う?:2019 使わない理由:-

## ミルボン★

RSPO加盟 2019年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	20	0.0%
パーム核油(PKO)	0	3	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	712	0	0.0%
使用量合計	712	23	3.2%
認証油使用地域	日本93%、中国 5%、北米2%	日本93%、中国 5%、北米2%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:○  
どこで使う:日本、ドイツ、米国、トルコ、中国、韓国、東南アジア諸国など  
いつから使う?:2023 使わない理由:-

## ライオン(株)★

RSPO加盟 2006年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	0	0	0.0%
パーム核油(PKO)	0	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	32316	23827	73.7%
使用量合計	32316	23827	73.7%
認証油使用地域	日本100%	日本100%	

自社ブランドの有無:○ 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:⑤⑥⑦

## 堺化学工業(株)★

RSPO加盟 2021年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	2500	0	0.0%
パーム核油(PKO)	0	0	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	0	0	0.0%
使用量合計	2500	0	0.0%
認証油使用地域	その他100	-	

自社ブランドの有無:× Ingredient Manufacturers原料メーカー  
認証マーク使用の有無:○ どこで使う:日本 いつから使う?:2022  
使わない理由:-

## 当栄ケミカル(株)★

RSPO加盟 2016年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	3000	0	0.0%
パーム核油(PKO)	-	172.8	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	2500	-	0.0%
使用量合計	5500	172.8	3.1%
認証油使用地域	-	日本100%	

自社ブランドの有無:× 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:-

## (株)ダイセル★

RSPO加盟 2018年

	使用総量(t)	認証使用量(t)	認証品使用比率
パーム油(CPO)	204	3.75	1.8%
パーム核油(PKO)	-	3.75	0.0%
パーム核ケーキ(PKC)	0	0	0.0%
パーム油・パーム核油の派生品	204	-	0.0%
使用量合計	408	7.5	1.8%
認証油使用地域	-	日本100%	

自社ブランドの有無:× 認証マーク使用の有無:×  
どこで使う:- いつから使う?:- 使わない理由:-

## ACOPLレポート2021がRSPOの サイトで確認できなかった企業

キリンHD、パスコ、山芳製菓、日新加工、日本コルマー、  
Fine Today 資生堂

※未提出、加盟期間が短いため提出義務がない、RSPOのサイトの不具合などが考えらえる。

文責/森井真理子(BCTJ理事)

# 神戸どうぶつ王国のRSPO認証品への切り替え作戦経過報告

生物多様性保全活動に熱心な神戸どうぶつ王国では、ボルネオでの活動を踏まえて、園内の店舗ではRSPO認証品に切り替えるべく、活動開始。しかし、なかなか進まないようです。現状を神戸どうぶつ王国の佐藤哲也園長に伺いました。

## 認証油への切り替えを考えたきっかけ

“地球は生き物でできてる”…生物多様性は非常に重要です。当園グループではライチョウやツシヤママネコなどさまざまな保全活動を行っており、お客さん向けに“生物多様性保全の壁”という展示やSDGs啓発イベントを行っています。ボルネオの保全活動にも取り組んでいますが、現地でアブラヤシ農園が地平線まで続く光景を目の当たりにして、野生動物のことを配慮したRSPO認証油への切り替えを考えたのです。



園内中央にある生物多様性保全の壁には、手で触れる仕掛けもあって子どもも楽しめる。

最初はFSC認証品のように、すぐ購入できると思っていたのですが、どこで売っているのかもわからない…WWFジャパンに問い合わせると、まずはRSPOに加盟すること、そして当園のレストランで使用する材料を認証品に切り替えることが必要と知りました。

## 認証品がない!!

当園の場合、パーム油を直接仕入れて製品を作るわけではなく、卸売業者から認証油を使った材料を仕入れることになります。当園の飲食店舗で使用するRSPO認証品はどこでどんなものが入手できるのかを、まず卸売業者を通じて問

い合わせました。各社の回答は以下の通りです。

**A社:** キャノーラ油 & パーム油に、認証品がある。「店頭で訴求する場合RSPOに加盟し、RSPO本部とライセンス契約を結ぶ必要がある」とのこと。

**B社:** 国内工場で生産する商品に使うパーム油は全量認証に切り替えているが、加工品のため認証マークはつけられない。ただ、「本製品にはRSPO認証のとれたパーム油を原料に使用しています」のような文言使用可能だが「社会情勢の変化や調達状況などにより、急にRSPO認証製品が使えなくなる可能性もある。」

**C社:** 認証マーク付き商品は無いが、認証パーム油を使用している商品の一覧はある、B&C方式のため、実際に使用しているパーム油は認証油とは異なる。

**D社:** パーム油を使用した商品（カレー）があるが、認証パーム油ではない。

**E社:** 認証マーク付き商品の取扱はないが、認証パーム油の取り組みを始めている（B&C）。

他の5社はすべて、いずれも認証パーム油を使用した商品はなし。という結果でした。これでは提供できるのはフライドポテト、ナゲットなどの揚げ物、と炒飯だけ?! 認証品の少なさに驚きました。

## 動物園のRSPOへの取り組み

2022年WAZA（世界動物園水族館協会）は、「動物園・水族館での持続可能なパーム油の調達」指針で、「私たちは生物多様性や動物の専門家として、また



やまねこキッチンメニュー。揚げ油、カレールーなどパーム油が使われている。

パーム油を持続可能なものにするという共通の目的を達成するために毎年何百万人もの人々に接することができる教育施設としてRSPOを支持しています」とし、認証油を扱うサプライヤーを探すこと、いない場合はサプライヤーにRSPOへの取り組みを促すように表明しています。(日本動物園水族館協会の訳から抜粋) 欧米を中心に動物園のRSPOの取り組みは進んでいますが、日本はまだスタートを切ったばかり、動物園の力だけでは不十分です、消費者やメーカー、NGOなどの協力が必要です。

## 保全活動は「循環」がたいせつ

当園では絶滅危惧種ツシヤママネコの保全活動を行っていますが、その一環として減農薬農法でつくったツシヤマネコ米をレストランで使っています。減農薬なら、田んぼには彼らのエサになるネズミやカエルがたくさんいるからです。来園者は食べることでツシヤママネコが狩りをする田んぼを守り環境保全に協力できます。地元の人、消費者がつながっていくこと。循環することで、環境保全活動は根付いていくと考えています。

RSPOも、消費者やお店が認証油をもっと手軽に入手できる形にしてもらえたらいいなと思っています。

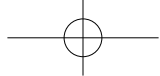
RSPOに関して園内のレストランで認証油に切り替えるのは今の段階では難しいですが、園内

で使う消毒手洗い石鹸などを認証品に切り替えました。まずができることから



佐藤ツシヤママネコ米は、園内の売店で販売されている。始めていきます。パッケージがキュート。





# Part 2

# 統計編

## CONTENTS - 2

### 統計1

#### 世界の油脂事情… P18 ~ P19

統計1-1 主要17油脂別生産量(2021)

統計1-2 5大植物油生産量変遷

統計1-3 5大植物油輸出量変遷

統計1-4 油糧作物別単収変遷

### 統計2

#### パーム油… P20 ~ P21

統計2-1 パーム油の国別生産量(2021)

統計2-2 パーム油の国別消費量(2021)

統計2-3 パーム油の国別輸出量(2021)

統計2-4 パーム油の国別輸入量(2021)

### 統計3

#### パーム核油… P22 ~ P23

統計3-1 パーム核油の国別生産量(2021)

統計3-2 パーム核油の国別消費量(2021)

統計3-3 パーム核油の国別輸出量(2021)

統計3-4 パーム核油の国別輸入量(2021)

### 統計4

#### アブラヤシ栽培面積の変遷… P24 ~ P25

統計4-1 国別アブラヤシ収穫可能面積・単収(2021)

統計4-2 インドネシアとマレーシアのアブラヤシ栽培面積変遷

統計4-3 マレーシアの州別アブラヤシ栽培面積変遷

統計4-4 大豆とアブラヤシの栽培可能面積変遷

### 統計5

#### 日本… P26

統計5-1 日本の油糧別植物油供給量(2021)

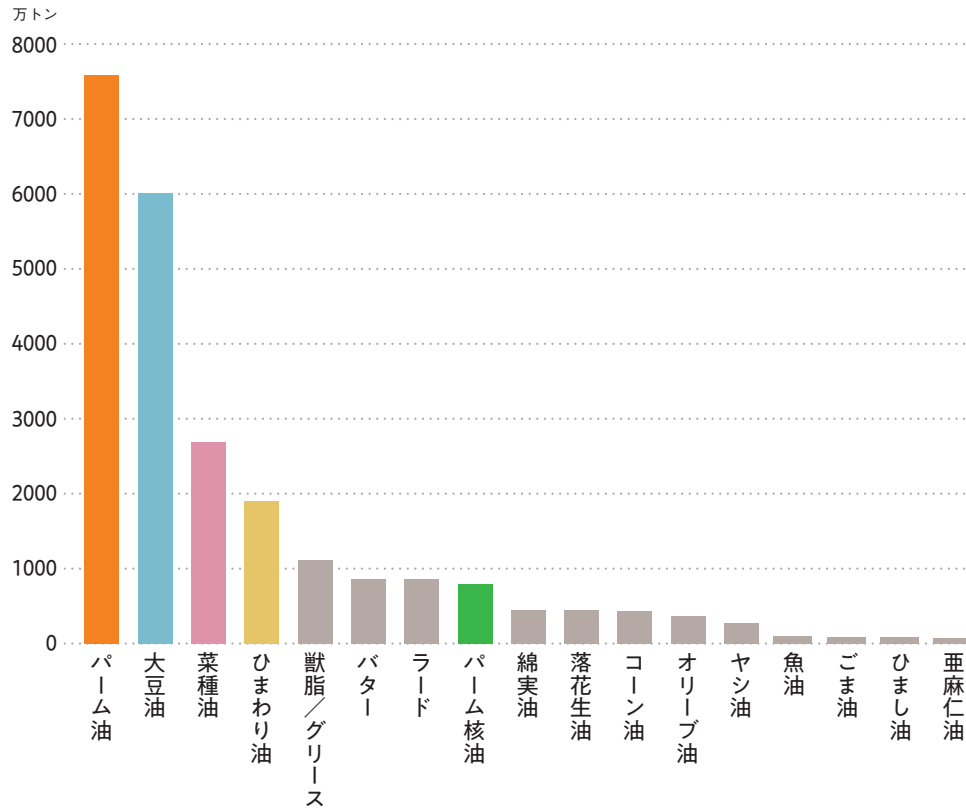
統計5-2 植物油・大豆の輸入価格(2021)

#### 緑の回廊プロジェクト… P27

# 統計 1 世界の油脂事情

## 統計 1-1 主要17油脂別生産量(2021)

Source : Oil World Annual 2022



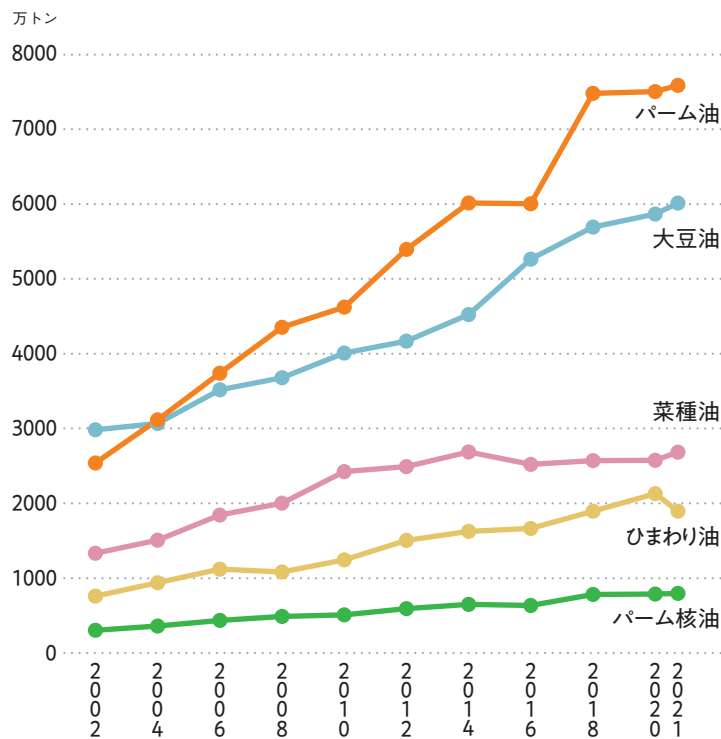
17油脂の総生産量は2億4100万トンで、前年より500万トン増加。パーム油は全体の31%、大豆油は25%を占め、この2種だけで全体の半分以上を占める。

単位：万トン

種類	生産量
パーム油	7589.0
大豆油	6015.3
菜種油	2685.9
ひまわり油	1896.5
獣脂/グリース	1115.7
バター	863.5
ラード	861
パーム核油	797.7
綿花油	445.1
落花生油	440.6
コーン油	436.9
オリーブ油	363.1
ヤシ油	275.6
魚油	101.5
ごま油	92.5
ひまし油	86.7
亜麻仁油	79.0
合計	24145.7

## 統計 1-2 5大植物油生産量変遷

Source : Oil World Annual 2022



パーム油の生産量は2004年に大豆油を抜き、1000万トン以上の差をつけている。パーム油の生産量はこの20年で約3倍になっている。

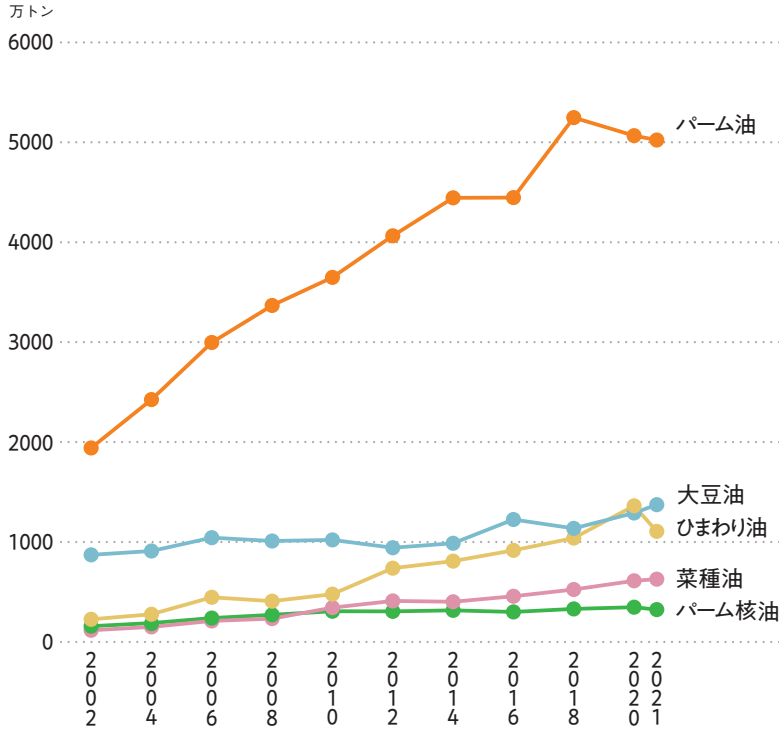
単位：万トン

	パーム油	大豆油	ひまわり油	菜種油	パーム核油
2002	2540.7	2985.0	761.0	1334.3	304.4
2004	3117.8	3069.1	940.1	1509.2	361.2
2006	3741.5	3519.6	1121.7	1844.6	436.5
2008	4355.0	3680.8	1084.5	2003.6	489.4
2010	4624.5	4010.4	1245.5	2425.9	510.5
2012	5396.4	4170.2	1506.2	2492.7	594.0
2014	6016.8	4525.0	1626.6	2688.6	650.9
2016	6006.2	5265.7	1666.2	2522.5	636.2
2018	7481.9	5694.7	1896.3	2572.6	783.4
2020	7505.9	5868.5	2130.9	2576.8	788.8
2021	7589.0	6015.3	1896.5	2685.9	797.7

※小数点第2位で四捨五入しているため、合計がずれている場合があります。  
 ※新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な業務が遅れています。統計は後日修正される可能性があります。

## 統計 1-3 5大植物油輸出量変遷

Source : Oil World Annual 2022



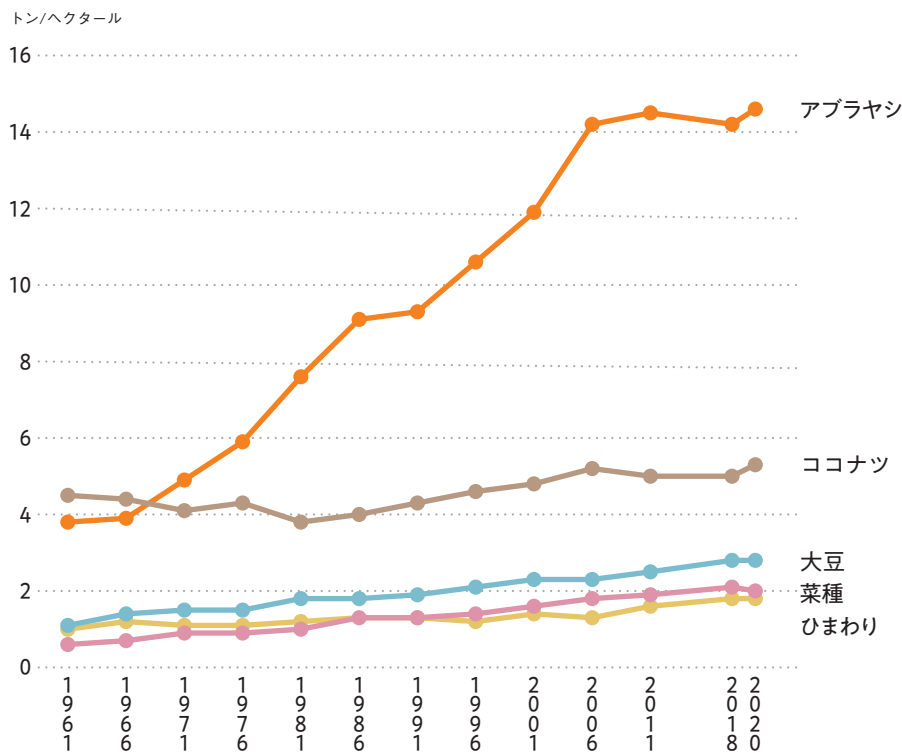
輸出量はパーム油が圧倒的に多い。パーム油は生産量の約66%が輸出されるが、大豆油は約20%と国内消費が大半である。

単位: 万トン

	パーム油	大豆油	ひまわり油	菜種油	パーム核油
2002	1941.5	871.6	226.5	116.9	157.5
2004	2425.6	910.1	277.0	150.4	188.9
2006	2997.1	1043.5	447.0	210.3	239.0
2008	3367.7	1010.2	408.1	233.2	271.4
2010	3648.7	1021.2	478.4	343.3	307.2
2012	4064.7	942.7	738.3	410.5	306.0
2014	4444.8	987.6	808.9	402.1	316.1
2016	4447.3	1225.3	916.8	457.2	300.3
2018	5247.8	1136.6	1039.6	524.9	330.5
2020	5067.0	1290.6	1362.3	612.0	347.7
2021	5023.4	1373.7	1106.8	628.3	323.6

## 統計 1-4 油量作物別単収変遷

Source : Oil World Annual 2022



60年前の単収と比すと、アブラヤシ、大豆、菜種とも数倍になっている。含有率はアブラヤシは25%、大豆は29%、菜種は40%と言われている。

単位: トン/ヘクタール

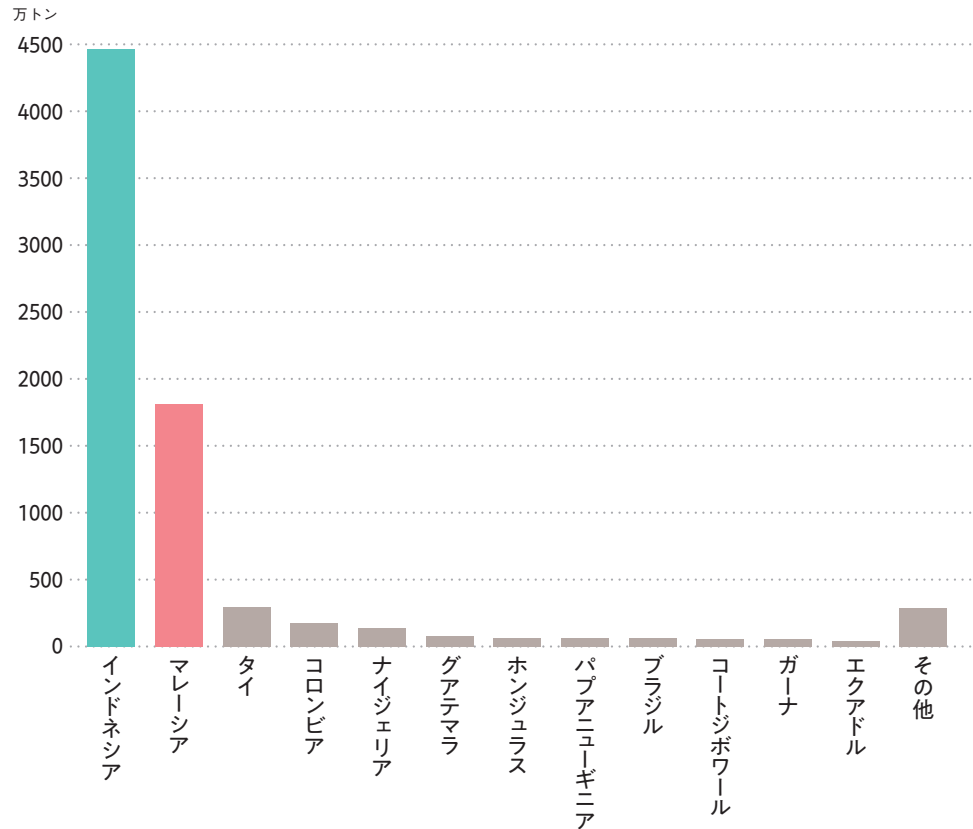
	ココナツ	アブラヤシ	菜種	大豆	ひまわり
1961	4.5	3.8	0.6	1.1	1.0
1965	4.4	3.9	0.7	1.4	1.2
1971	4.1	4.9	0.9	1.5	1.1
1976	4.3	5.9	0.9	1.5	1.1
1981	3.8	7.6	1.0	1.8	1.2
1986	4.0	9.1	1.3	1.8	1.3
1991	4.3	9.3	1.3	1.9	1.3
1996	4.6	10.6	1.4	2.1	1.2
2001	4.8	11.9	1.6	2.3	1.4
2006	5.2	14.2	1.8	2.3	1.3
2011	5.0	14.5	1.9	2.5	1.6
2018	5.0	14.2	2.1	2.8	1.8
2020	5.3	14.6	2.0	2.8	1.8

# 統計 2 パーム油

## 統計 2-1 パーム油の国別生産量(2021)

Source : Oil World Annual 2022

総生産量は前年より170万トン増えた。生産量1位のインドネシアは200万トン弱増加、2位のマレーシアは30万トン減少、両国の差が拡大した。



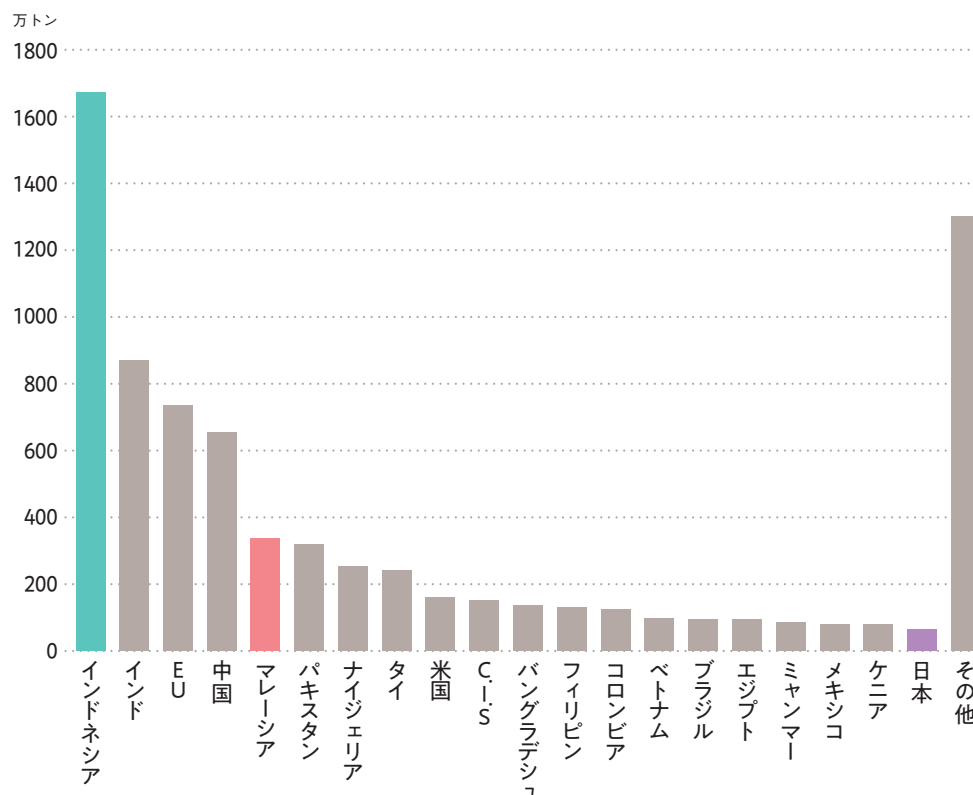
単位: 万トン

国名	生産量
インドネシア	4465.0
マレーシア	1811.6
タイ	294.0
コロンビア	173.9
ナイジェリア	135.0
グアテマラ	80.0
ホンジュラス	65.0
パプアニューギニア	65.0
ブラジル	61.5
コートジボワール	57.0
ガーナ	56.5
エクアドル	38.0
その他	286.5
合計	7589.0

## 統計 2-2 パーム油の国別消費量(2021)

Source : Oil World Annual 2022

総消費量は前年に比して500万トン増加。インドネシアは130万トンも増加、インドは30万トンと減少。EUは50万トン増え、中国を抜いて3位になった。



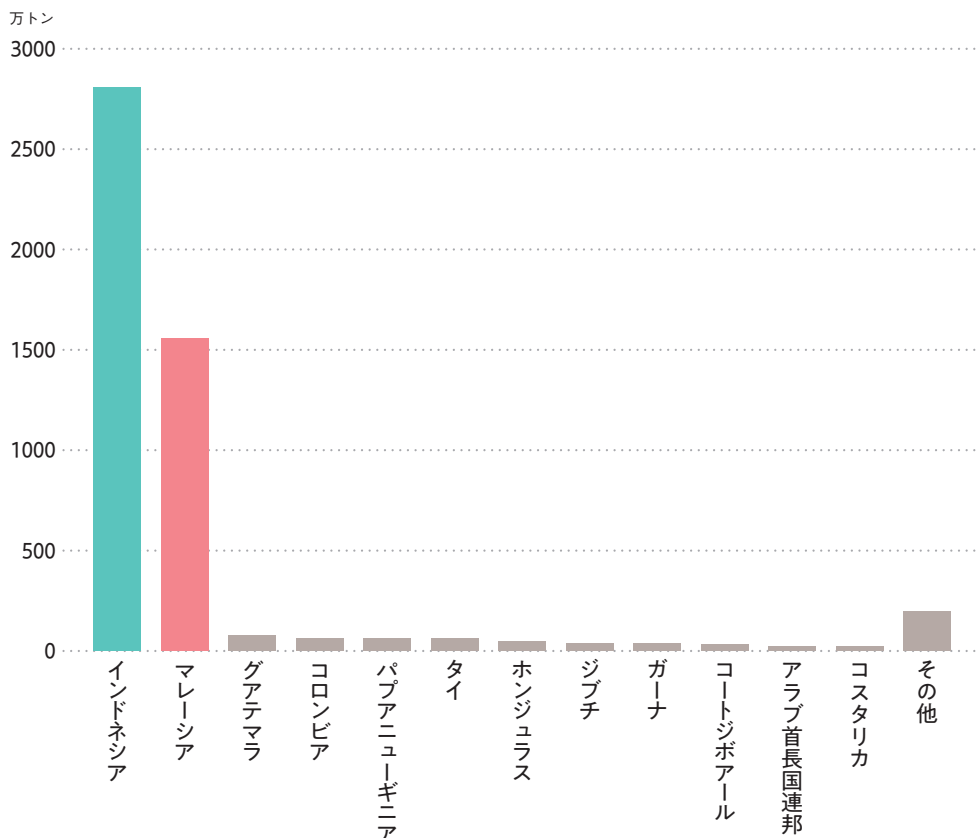
単位: 万トン

国名	消費量
インドネシア	1672.0
インド	869.9
EU	735.4
中国	653.8
マレーシア	337.8
パキスタン	317.6
ナイジェリア	253.1
タイ	240.0
米国	159.7
C.I.S	151.0
バングラデシュ	137.1
フィリピン	131.0
コロンビア	124.0
ベトナム	97.5
ブラジル	95
エジプト	93.2
ミャンマー	84.5
メキシコ	79.3
ケニア	78.5
日本	65.0
その他	1301.2
合計	7875.7

※小数点第2位で四捨五入しているため、合計がずれている場合があります。  
 ※新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な業務が遅れています。統計は後日修正される可能性があります。  
 ※C.I.Sは独立国家共同体の略。

## 統計 2-3 パーム油の国別輸出量(2021)

Source : Oil World Annual 2022



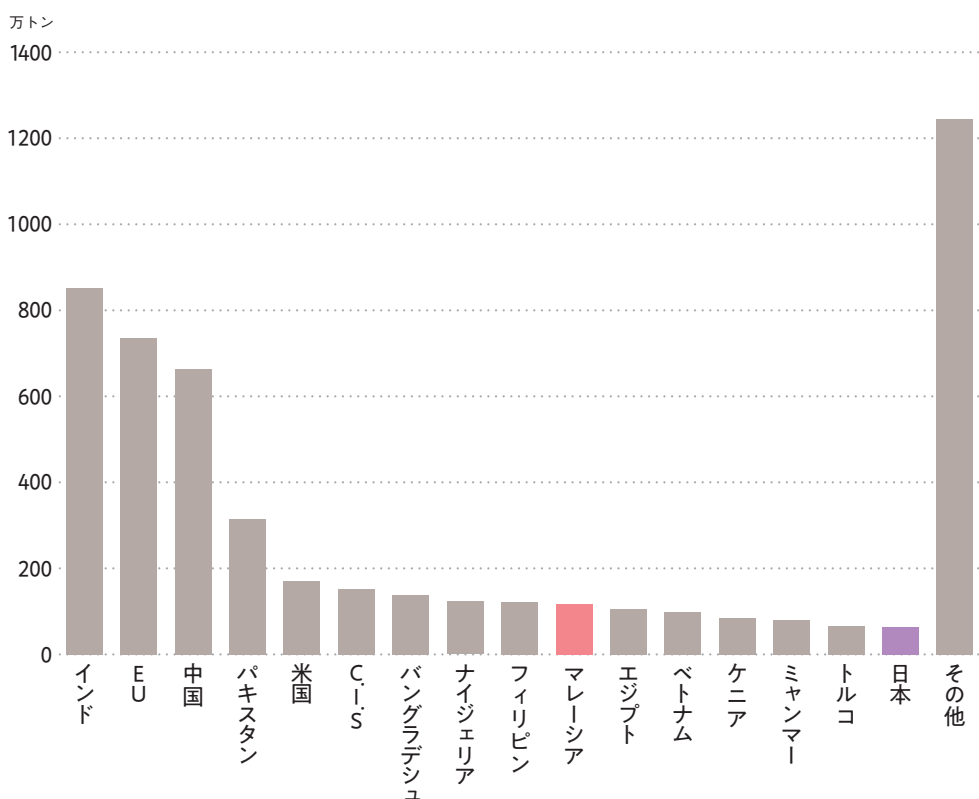
総輸出量は40万トン減少。1位のインドネシアは82万トン増加し、全体の56%を占める。2位のマレーシアは18万トン減少し差が開いた。

単位: 万トン

国名	輸出量
インドネシア	2808.7
マレーシア	1556.6
グアテマラ	76.6
コロンビア	63.0
パプアニューギニア	62.4
タイ	61.0
ホンジュラス	49.1
ジブチ	37.8
ガーナ	35.5
コートジボワール	30.8
アラブ首長国連邦	22.0
コスタリカ	21.7
その他	198.2
合計	5023.4

## 統計 2-4 パーム油の国別輸入量(2021)

Source : Oil World Annual 2022



総輸入量は10万トン増加。インドは100万トン増え、EUを抜いて1位になった。EUは84万トン減少。日本は12万トン減って64万トン。

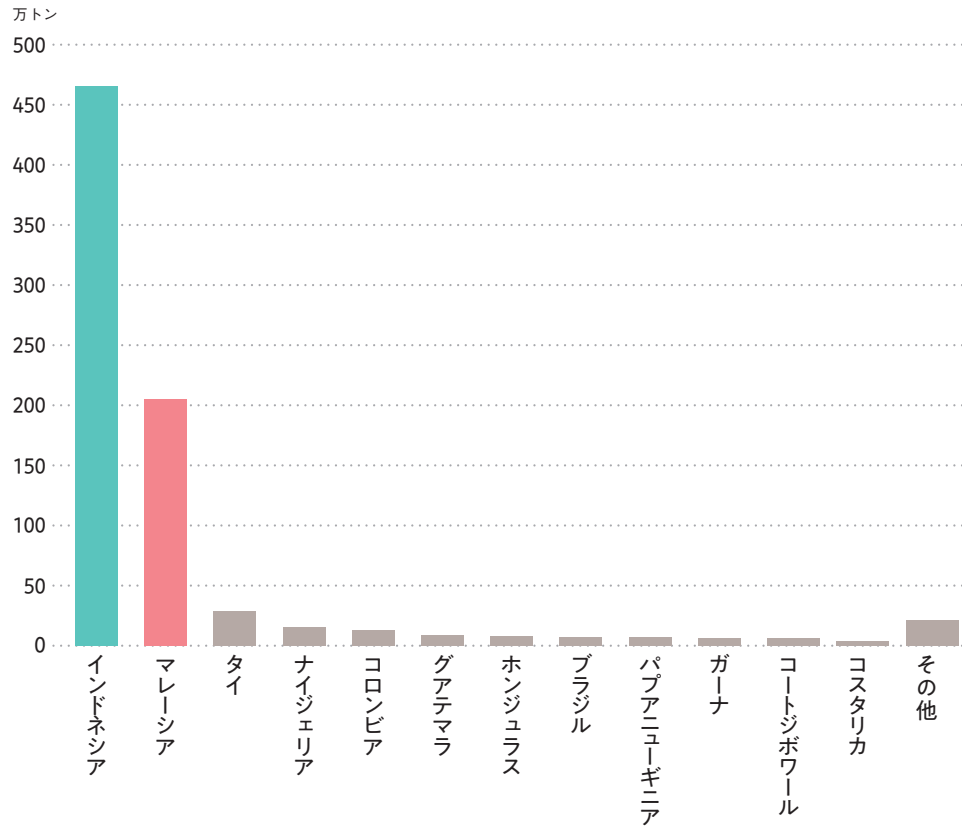
単位: 万トン

国名	輸入量
インド	851.0
EU	734.7
中国	663.3
パキスタン	315.3
米国	171.7
C.I.S	152.9
バングラデシュ	138.1
ナイジェリア	123.0
フィリピン	121.4
マレーシア	117.7
エジプト	104.8
ベトナム	98.1
ケニア	83.9
ミャンマー	79.6
トルコ	66.2
日本	63.8
その他	1245.1
合計	5130.5

# 統計 3 パーム核油

## 統計 3-1 パーム核油の国別生産量(2021)

Source : Oil World Annual 2022



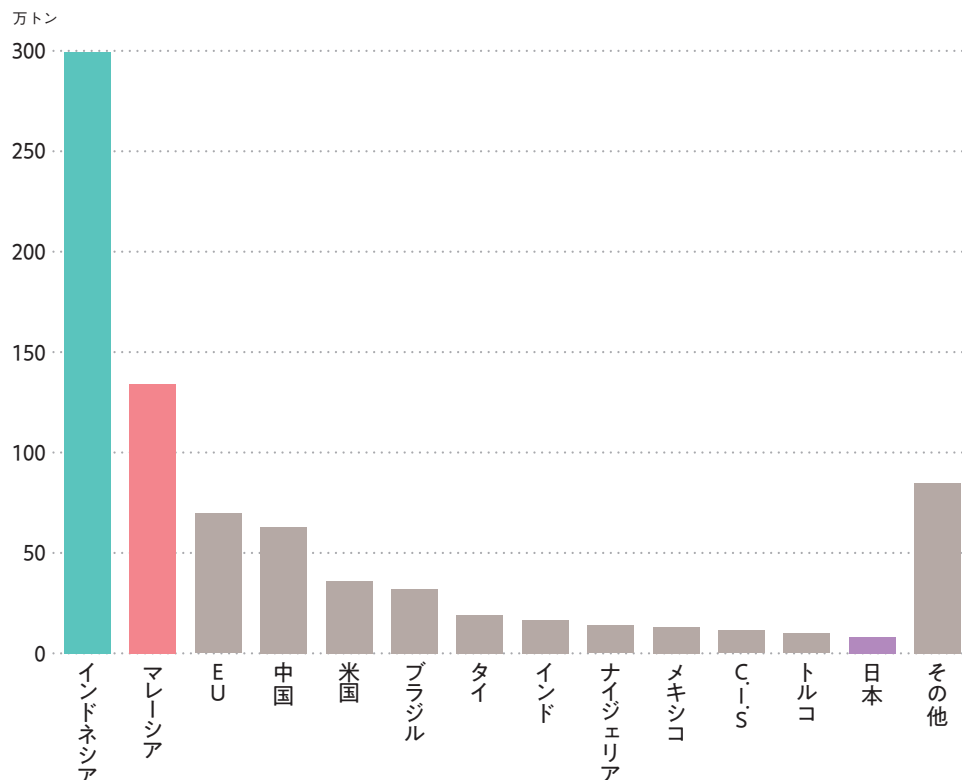
総生産量は14万トン増加で微増、インドネシアが20万トン増加で、マレーシアが15万トン減少、他の国は前年とほぼ変化なし。

単位: 万トン

国名	生産量
インドネシア	465.3
マレーシア	205.0
タイ	28.3
ナイジェリア	15.1
コロンビア	12.7
グアテマラ	8.5
ホンジュラス	8.1
ブラジル	7.2
パプアニューギニア	7.0
ガーナ	6.1
コートジボワール	5.9
コスタリカ	3.8
その他	21.1
合計	797.7

## 統計 3-2 パーム核油の国別消費量(2021)

Source : Oil World Annual 2022



総消費量は50万トン減少。1位のインドネシアが30万トン、2位のマレーシアが7万トンと減少の大部分を占める。日本は0.5万トン増加。

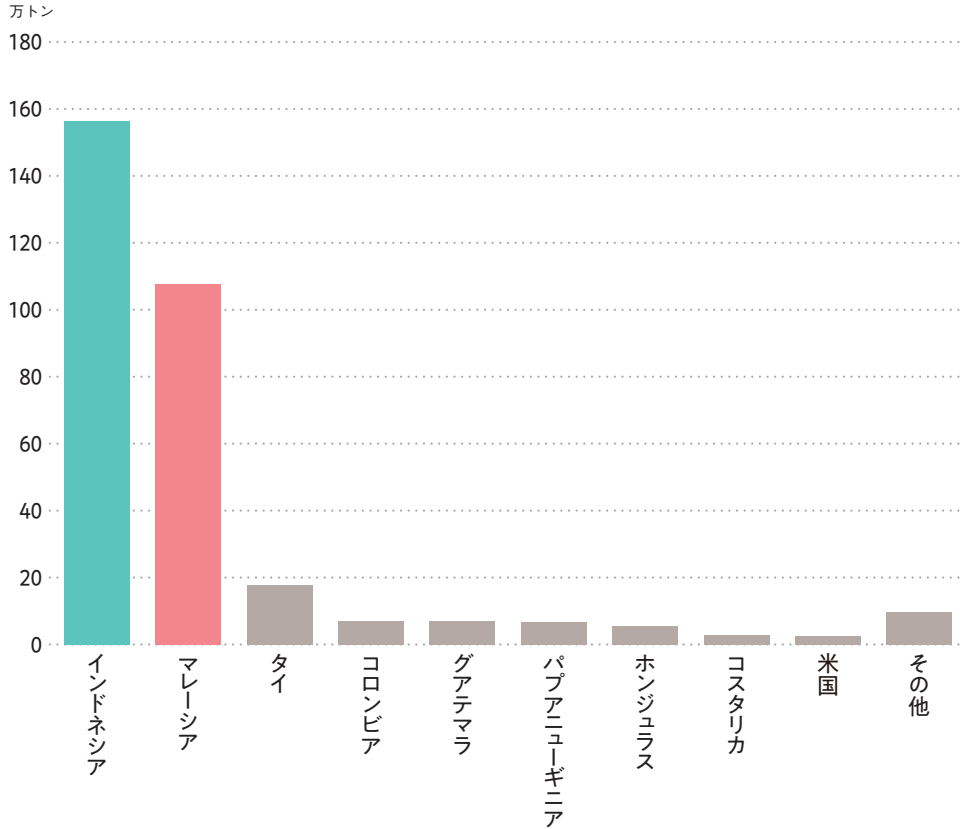
単位: 万トン

国名	消費量
インドネシア	299.3
マレーシア	134.0
EU	69.7
中国	63.0
米国	36.0
ブラジル	32.0
タイ	19.2
インド	16.5
ナイジェリア	13.8
メキシコ	13.1
C.I.S	11.4
トルコ	9.9
日本	8.0
その他	84.7
合計	810.4

※小数点第2位で四捨五入しているため、合計がずれている場合があります。  
 ※新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な業務が遅れています。統計は後日修正される可能性があります。  
 ※C.I.Sは独立国家共同体の略。

### 統計 3-3 パーム核油の国別輸出量(2021)

Source : Oil World Annual 2021



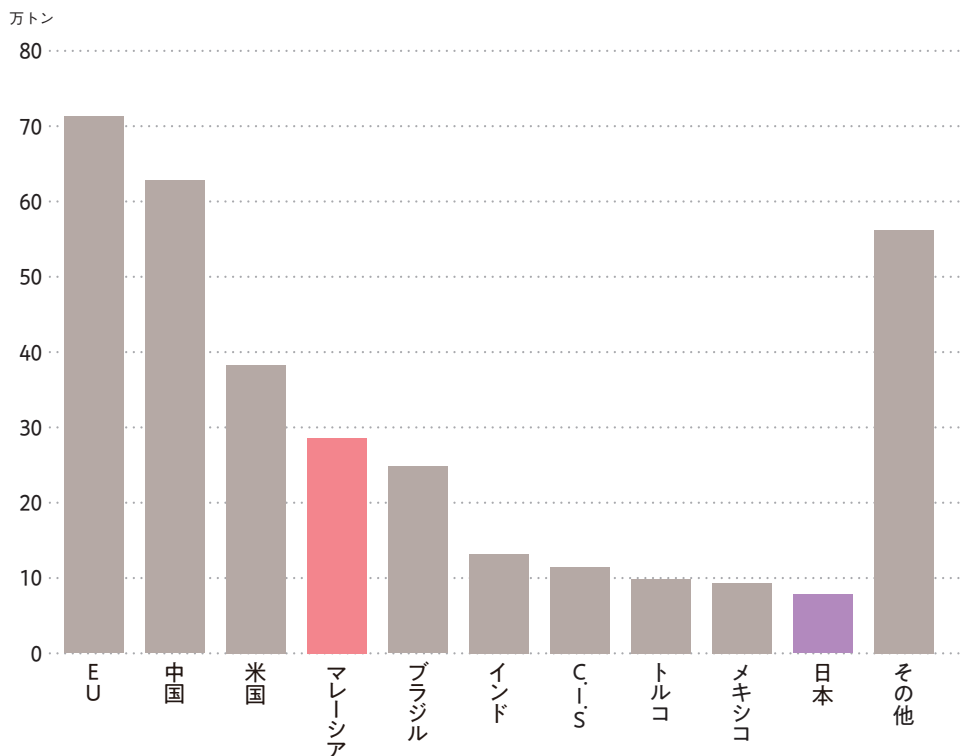
輸出総量は24万トン減少。インドネシアが23万トン、マレーシアが14万トン減少している一方、タイは18万トンと輸出量が2倍になっている。

単位: 万トン

国名	輸出量
インドネシア	156.5
マレーシア	107.7
タイ	17.9
コロンビア	7.1
グアテマラ	6.9
パプアニューギニア	6.7
ホンジュラス	5.6
コスタリカ	2.9
米国	2.6
その他	9.6
合計	323.6

### 統計 3-4 パーム核油の国別輸入量(2021)

Source : Oil World Annual 2022



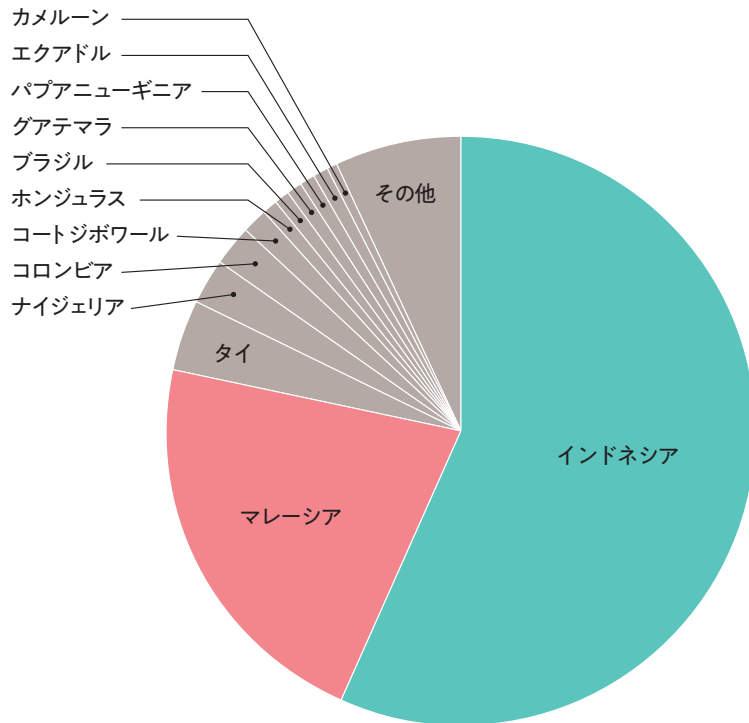
総輸入量は14万トン減少、中国は2年連続で減少して63万トン、輸入量1位はEUの71万トンとなった、日本は0.5万トン増加。

単位: 万トン

国名	輸入量
EU	71.3
中国	62.8
米国	38.3
マレーシア	28.6
ブラジル	24.8
インド	13.2
C.I.S	11.5
トルコ	9.9
メキシコ	9.3
日本	7.8
その他	56.2
合計	333.7

# 統計4 アブラヤシ栽培面積の変遷

統計 4-1 国別アブラヤシ収穫可能面積・単収(2021)  
Source : Oil World Annual 2022



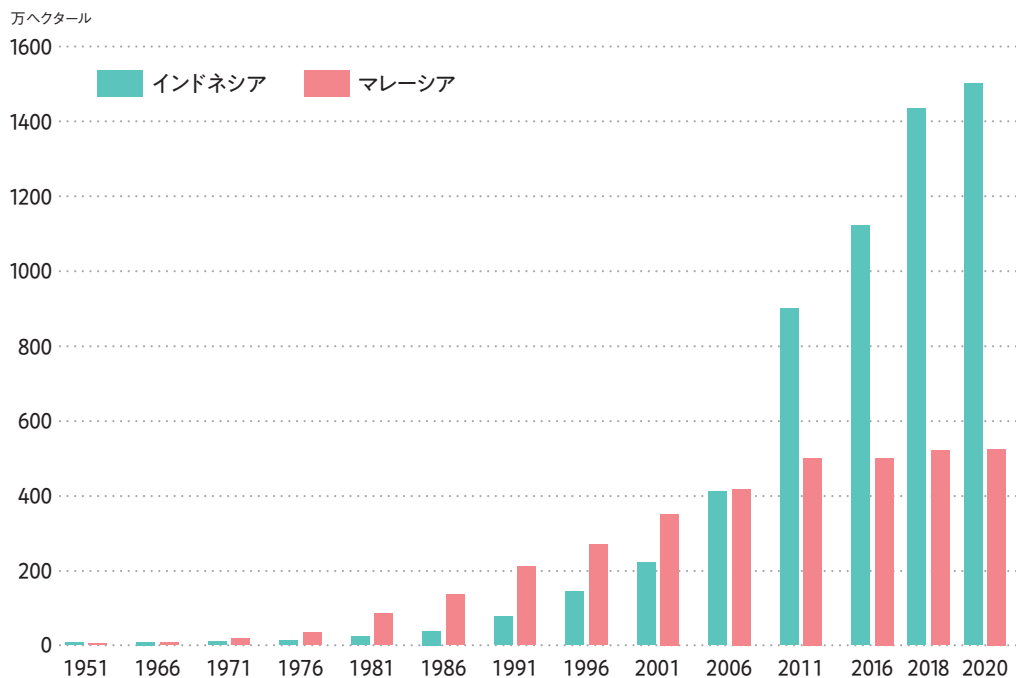
単収の平均はヘクタールあたり3.18トンで微減。アジアと比すとアフリカが低い傾向。インドネシアとマレーシアの栽培面積は全体の79%を占める。

単位：万ヘクタール トン/ヘクタール

国名	収穫可能面積	単収
インドネシア	1355.0	3.30
マレーシア	519.0	3.49
タイ	95.0	3.09
ナイジェリア	57.0	2.37
コロンビア	49.9	3.48
コートジボワール	32.5	1.75
ホンジュラス	21.0	3.10
ブラジル	20.5	3.00
グアテマラ	19.8	4.04
パプアニューギニア	19.6	3.32
エクアドル	19.0	2.00
カメルーン	16.5	1.94
その他	161.9	1.92
合計/平均	2386.7	3.18

統計 4-2 インドネシアとマレーシアのアブラヤシ栽培面積変遷

Source : FAO STAT <https://www.fao.org/faostat/en/#data 2022/ 11/ 24>



2000年代半ばまではマレーシアとインドネシアが拮抗していたが、2010年代からマレーシアは漸増、インドネシアは急激な勢いで増加している。

単位：万ヘクタール

	インドネシア	マレーシア
1951	7.0	4.3
1966	8.5	6.7
1971	9.5	18.4
1976	13.0	34.4
1981	23.0	84.8
1986	37.4	136.1
1991	77.2	209.4
1996	142.8	269.2
2001	220.0	349.9
2006	411.0	416.5
2011	899.3	500.0
2016	1120.1	500.1
2018	1432.6	518.9
2020	1499.6	523.2

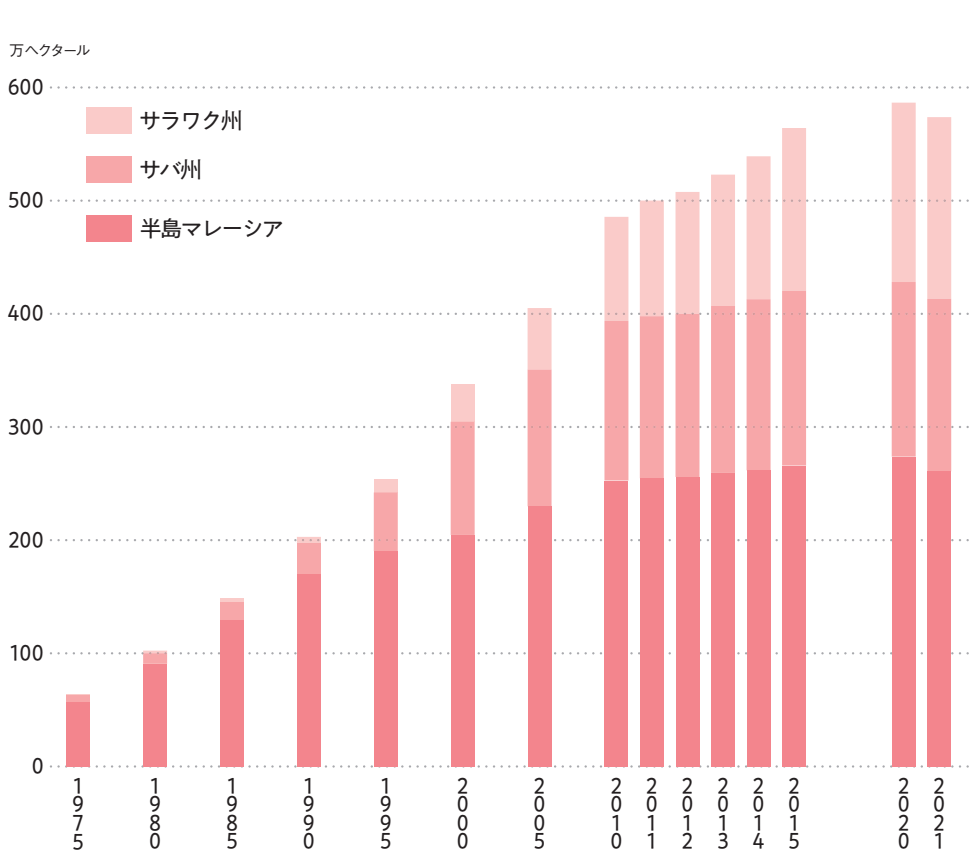


※小数点第2位で四捨五入しているため、合計がずれている場合があります。  
 ※新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な業務が遅れています。統計は後日修正される可能性があります。

### 統計 4-3 マレーシアの州別アブラヤシ栽培面積変遷

Source: MPOB

最近10年間で、サラワクは44万ヘクタールも増加し、サバを抜いた。サバは1990年代は急増したが、この5年ほどは微増にとどまっている。



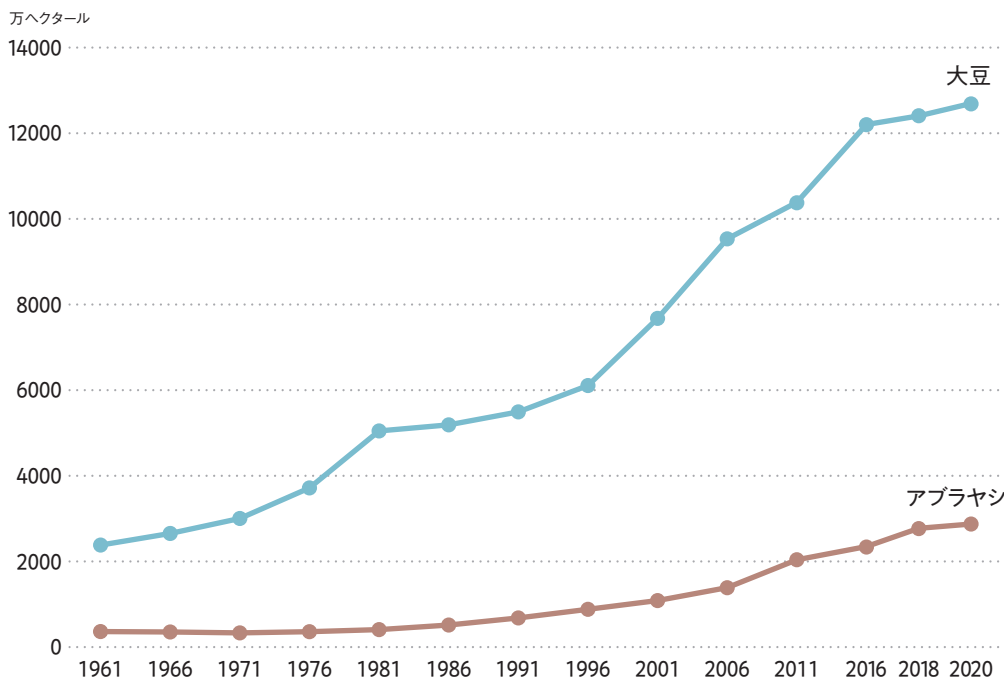
単位: 万ヘクタール

	半島マレーシア	サバ州	サラワク州
1975	56.9	5.9	1.4
1980	90.7	9.4	2.3
1985	129.2	16.2	2.9
1990	169.8	27.6	5.5
1995	190.3	51.8	11.9
2000	204.6	100	33
2005	229.9	120.9	54.3
2010	252.7	141	92
2011	254.7	143.2	102.2
2012	255.8	144.3	107.6
2013	259.4	147.5	116.1
2014	261.7	151.2	126.3
2015	265.9	154.4	143.9
2020	273.8	154.3	158.5
2021	260.8	152.4	160.6

### 統計 4-4 大豆とアブラヤシの栽培可能面積変遷

Source: FAO STAT (<https://www.fao.org/faostat/en/#data>)2021/11/30

大豆の栽培面積はアブラヤシの4倍だが、生産量は80%に留まる。アブラヤシはインドネシアなどアジア、大豆はブラジルなど南北アメリカで栽培される。

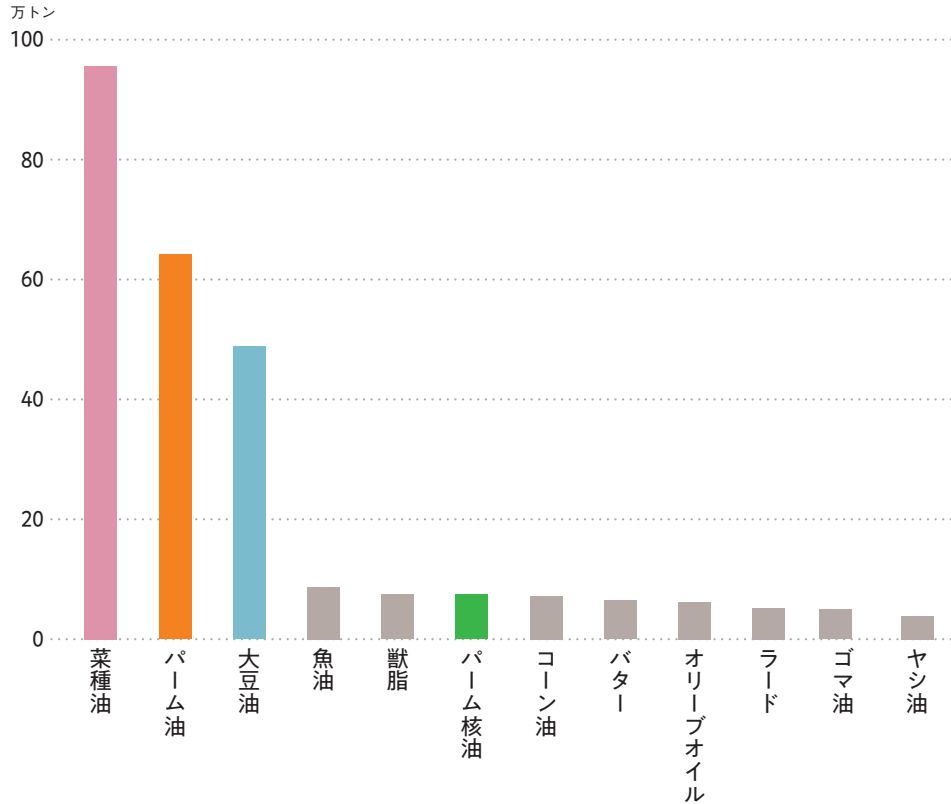


単位: 万ヘクタール

	大豆	アブラヤシ
1961	362.1	2381.9
1966	352.4	2653.4
1971	331.2	3003.4
1976	359.3	3716.8
1981	407.8	5047.6
1986	514.7	5190.0
1991	680.4	5492.5
1996	881.9	6107.9
2001	1086.6	7676.3
2006	1388.0	9533.5
2011	2038.4	10386.0
2016	2347.6	12203.6
2018	2773.6	12405.2
2020	2873.6	12695.2

## 統計 5-1 日本の油糧別植物油供給量(2021)

Source : Oil World Annual 2022



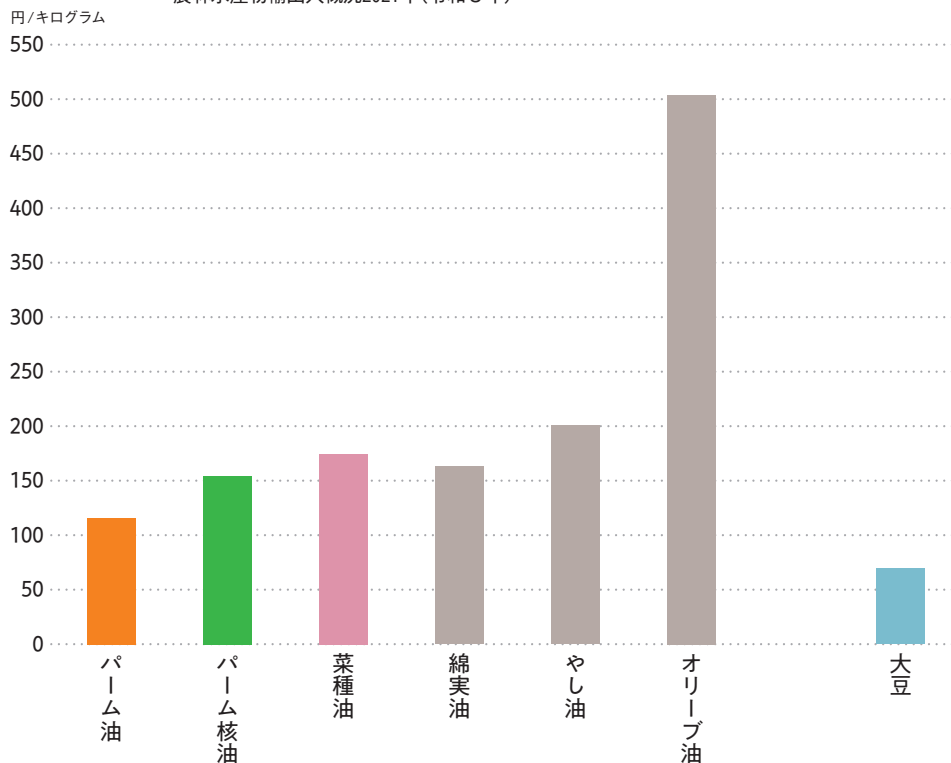
Oil World の国別データから、油脂ごとに(生産量+輸入量-輸出量)で、供給量を算出した。上位は菜種油、パーム油、大豆油。米油のデータはなかった。

単位:万トン

種類	消費量
菜種油	95.6
パーム油	64.2
大豆油	48.8
魚油	8.7
獣脂	7.5
パーム核油	7.5
コーン油	7.2
バター	6.5
オリーブオイル	6.2
ラード	5.2
ゴマ油	5.0
ヤシ油	3.9
合計	272.2

## 統計 5-2 植物油・大豆の輸入価格(2021)

Source : 農林水産物輸出入統計 確報 農林水産物輸出入概況2021年(令和3年)  
 農林水産物輸出入概況2021年(令和3年)



植物油の中ではパーム油は低価格だが、いずれの植物油も前年に比して20%から65%価格上昇。大豆油は、輸入大豆で作られるので大豆の価格と比較した。

単位:円/キログラム

種類	輸入価格
パーム油	115.8
パーム核油	154.2
菜種油	174.6
綿実油	163.0
やし油	200.6
オリーブ油	503.9
大豆	69.6

大豆の含油率は20%なので、単純計算すると大豆油の価格は5倍になる。

# 緑の回廊プロジェクト

ボルネオ保全トラスト・ジャパンは、世界有数と称されるボルネオの豊かな生態系を未来に残すため、キナバタンガン川下流域に細長く熱帯雨林が広がる「緑の回廊」をつくって野生動物の生息域を確保し、多様な生物が生きていることのできる環境を保全するための活動を行なっています。

ボルネオ島北部に位置するマレーシアのサバ州では、数千万年ものあいだその姿をとどめていた悠久の熱帯雨林が、森林伐採やアブラヤシプランテーションの急激な開発によってわずか70年で150万ha以上も消失しました。野生動物は生息地を追われ、数も減少しています。

生物多様性の宝庫と称されるボルネオ島のなかでも有数の地域のひとつ、サバ州北東部を流れるキナバタンガン川流域でも大規模な開発が進みました。下流域の野生動物保護区は、プランテーションや私有の森に囲まれ、つながって

いません。開発が進めば、野生動物の生息地がさらに狭まって自由な移動は遮られ、繁殖は阻まれ、遺伝子の多様性も低下します。

キナバタンガン川下流域の生態系を繋ぐためには、野生動物が自由に移動できるように保護区と保護区の間に残る森をつなげた大きな「緑の回廊」が必要です。その実現のため、2006年にサバ州政府機関や企業によって「ボルネオ保全トラスト (BCT)」が設立されました。

2008年にはプロジェクトの実行を目的に「ボルネオ保全トラスト・ジャパン

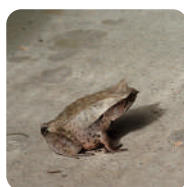
(BCTJ)」が活動をスタート。みなさまのご支援によりこれまでに1.4億円を超える寄附金が集まり、およそ104ヘクタールの土地を緑の回廊として獲得しました。また獲得した土地を保護区とするために、サバ州政府に寄贈する手続きも進められています。

生物多様性の保全は21世紀の人類共通の大きな課題です。私たちはこれからもボルネオの地で生物多様性保全活動、自然環境保護活動に全力で取り組みます。今後とも末永いご支援・ご協力のほどよろしくごお願い申し上げます。

## 完成予想図と現段階(2023.1)までの取得地



発行: 認定NPO法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン (BCTJ)  
制作: パーム油白書編集委員会(青木崇史、中西宜夫、森井真理子)  
編集協力: 緒方菜月 写真: 中西宜夫、竹谷健太郎 デザイン: 根本睦子  
発行: 2023年2月  
■本書掲載記事の無断転用を禁じます。



認定NPO法人  
**ボルネオ保全トラスト・ジャパン**  
(BCTJ)

〒140-0002 東京都品川区東品川1-25-8

Tel ■ 03-3471-4966

URL ■ <https://www.bctj.jp>

Facebook ■ <https://www.facebook.com/bctjapan/>

Twitter ■ <https://twitter.com/bctjapan/>

E-mail ■ [info@bctj.jp](mailto:info@bctj.jp)



定価 **600円** (本体545円+税55円)

発行：2023年2月